3-088-494-**03**(1)

CD/DVD プレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DVP-NS575P

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

6～8ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。3ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

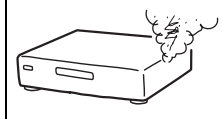
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

➡

❶ **電源を切る**

❷ **電源プラグをコンセントから抜く**

❸ **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

指挟み

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

使用上のご注意

設置について

次のような場所には置かないでください。

- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。その場合は離して使用してください。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。
  また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま、本機を動かさないでください。
ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を調整すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。
演奏を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。

窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。
結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約 30 分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

クリーニングディスクについて

市販のレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

CD/DVD プレーヤーは、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、不具合が生じた時はすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

目次

警告・注意

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

⚠警告

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

禁止

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源ボタンを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

本機は国内専用です

交流 100V の電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

また、コンセントの定格を越えて使用しないでください。

指示

警告・注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

⚠注意

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

トレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。

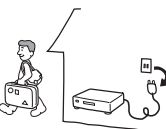
幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

コード類は正しく配置する

電源コードや AV ケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

アルカリ電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

アルカリ電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡ 万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

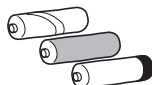
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

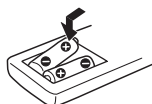
⚠注意

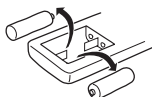
指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

この取扱説明書の使いかた

- この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
- DVD ビデオ、DVD-RW/DVD-R、DVD+RW/DVD+R を総称して DVD と表現することもあります。
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD-V	DVD ビデオ、DVD-RW/DVD-R（ビデオモード）、DVD+RW/DVD+R で使える機能
DVD-RW	DVD-RW（VR モード）で使える機能
VCD	ビデオ CD、スーパー VCD、ビデオ CD フォーマットまたはスーパー VCD フォーマットの CD-R/CD-RW で使える機能
CD	音楽用 CD、音楽用 CD フォーマットの CD-R/CD-RW で使える機能
DATA CD	CD-ROM/CD-R/CD-RW の MP3* 音声と JPEG 画像で使える機能

* MPEG 1 Audio Layer 3：MPEG と国際標準化機構（ISO）によって規定された音声のデジタル圧縮規格のひとつ。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	
DVD ビデオ (81 ページ)	DVD VIDEO
DVD-RW (81 ページ)	DVD RW
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO
音楽用 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO

“DVD VIDEO”、“DVD-RW” のロゴは商標です。

CD についてのご注意

本機では以下のフォーマットで記録した CD-ROM/CD-R/CD-RW が再生できます。

- 音楽用フォーマット
- ビデオ CD フォーマット
- ISO9660* レベル 1 / レベル 2 /Joliet 準拠の MP3 と JPEG
- KODAK Picture CD（コダックピクチャー CD）

* 国際標準化機構（ISO）が制定した CD-ROM の論理フォーマット。

地域番号（リージョンコード）について

著作権保護を目的に設けられた制度です。DVD ビデオのパッケージには販売地域によって、地域番号が表示されています。地域番号に「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

➡ 次のページへつづく

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。
- CD-ROM/CD-R/CD-RW
  ただし、先のフォーマットで記録したディスクは再生できます。
- フォト CD フォーマットで記録した CD-ROM
- CD-EXTRA のデータ部分
- DVD-ROM
- DVD オーディオ
- スーパーオーディオ CD の HD（ハイデンシティ）レイヤー

次のようなディスクも再生できません。
- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）の DVD ビデオ
- NTSC 以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク
  （本機が NTSC カラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕のあるディスク

ご注意

- **CD-R/CD-RW、DVD-RW/DVD-R、DVD+RW/DVD+R 再生時のご注意**

CD-R/CD-RW、DVD-RW/DVD-R、DVD+RW/DVD+R ドライブで記録されたディスクには、傷や汚れ、また記録状態や記録機、CD/DVD 書き込みソフトの特性が原因で再生できないものがあります。全ての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
DVD+RW/DVD+R によっては、適切にファイナライズ作業がされていても本機のいくつかの再生機能が使えないことがあります。その場合には、ノーマル再生でご覧下さい。また、パケット書式で作成されたデータ CD には、再生できないものがあります。

- **CD 再生時のご注意**

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中には CD 規格に準拠していないものがあり、本製品で再生できない場合があります。

DVD、ビデオ CD 再生操作について

DVD、ビデオ CD はソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

本製品の日本語表示には、株式会社リコー所有の文字フォントを使用しています。

ディスクの取り扱い上のご注意

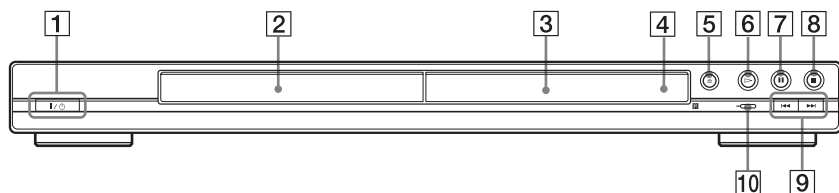
- 再生面に手を触れないように持ちます。

- 直射日光が当たるところなど温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。

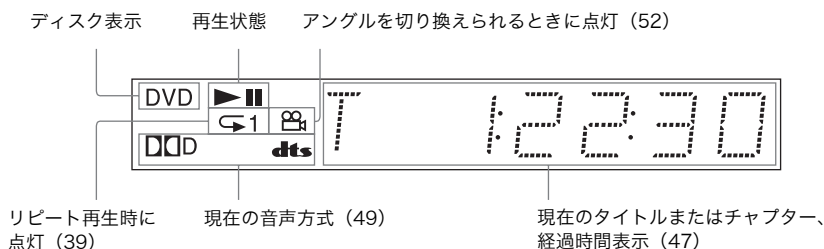
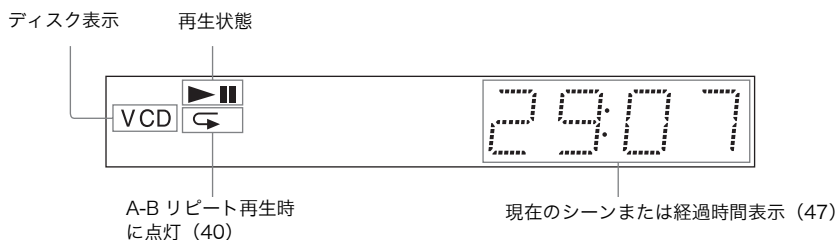
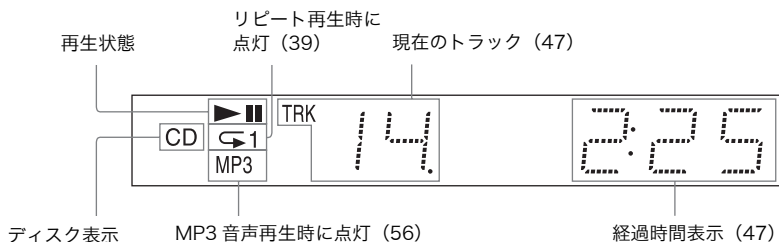
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

各部のなまえ

詳しい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面

1 I/⏻（電源）ボタン（31）
2 ディスクトレイ（31）
3 表示窓（13）
4 Ⓡ（リモコン受光部）（19）
5 ⏏（開 / 閉）ボタン（31）
6 ▷（再生）ボタン（31）
7 ❚❚（一時停止）ボタン（32）
8 ■（停止）ボタン（32）
9 ⏮/⏭（前 / 次）ボタン（42）
10 PROGRESSIVE（プログレッシブ）ランプ（70）
プログレッシブ信号を出力するときに点灯します。

本体の表示窓

DVD ビデオ /DVD-RW 再生中

ビデオ CD の PBC（Playback Control）再生中（35）

CD/ データ CD（MP3 音声）再生中 / ビデオ CD 再生中（PBC 以外）

ヒント
設定画面の「視聴設定」で表示窓の明るさを調
節できます（71 ページ）。

➡ 次のページへつづく

本体裏面

1 COMPONENT VIDEO OUT Y、PB/CB、PR/CR（コンポーネント映像出力（Y、PB/CB、PR/CR））** 端子（20）

2 LINE OUT VIDEO（映像出力）* 端子（20）

3 NORMAL/PROGRESSIVE スイッチ（70）

4 D 1/ D 2 VIDEO OUT（D1/D2 映像出力）端子（20）

5 S1 VIDEO OUT（S 映像出力）* 端子（20）

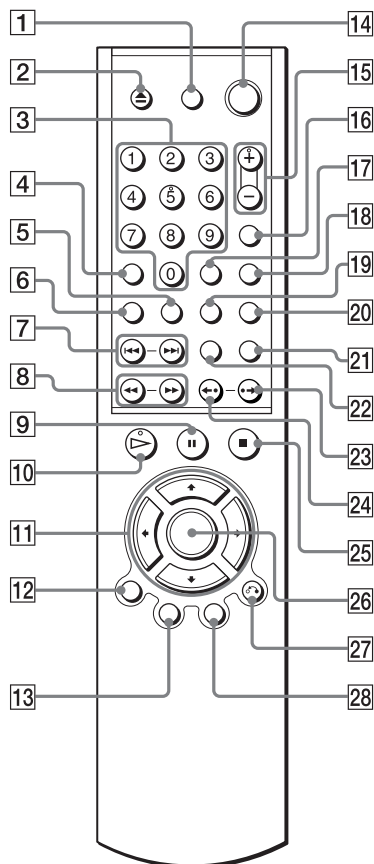
6 LINE OUT AUDIO L/R（音声出力）端子（24）（25）（26）

7 DIGITAL OUT COAXIAL（音声デジタル出力（同軸））端子（25）（26）（27）

8 DIGITAL OUT OPTICAL（音声デジタル出力（光））端子（25）（26）（27）

* これらの端子にテレビをつなぐときは、必ずNORMAL/PROGRESSIVE スイッチを「NORMAL」側にしてください。（70 ページ）。

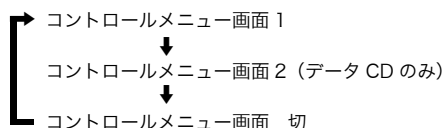
** 本機をプログレッシブ（525p）方式対応のテレビにつないだときのみ、NORMAL/PROGRESSIVE スイッチを「PROGRESSIVE」側にしてください。（70、75 ページ）。

リモコン

1 テレビ電源ボタン（67）
2 ⏏ 開 / 閉ボタン（31）
3 数字ボタン*（34）
4 クリアボタン（36）
5 字幕ボタン（52）
6 音声ボタン（49）
7 ⏮ 前 / ⏭ 次ボタン（32）
8 ◀❙ ◀◀/▶▶ ❙▶ スキャン/スローボタン（42）
9 ❚❚ 一時停止ボタン（32）
10 ▷ 再生ボタン*（31）
11 ←/↑/↓/→ ボタン（34）
12 画面表示ボタン（16）
13 トップメニューボタン（34）
14 電源ボタン（31）
15 音量 +/– ボタン*（67）
16 入力切換ボタン（67）
17 時間 / テキストボタン（46）
18 お好み画質ボタン（53）
19 アングルボタン（52）
20 サラウンドボタン（50）
21 ピクチャーナビボタン（45）（58）
22 ズームボタン（32）（60）
23 •➔/❙❙▶ フラッシュ + ステップボタン（32）（42）
24 ←•/◀❙❙ フラッシュ - ステップボタン（32）（42）
25 ■ 停止ボタン（32）
26 決定ボタン（28）
27 ↶ リターンボタン（35）
28 メニューボタン（34）

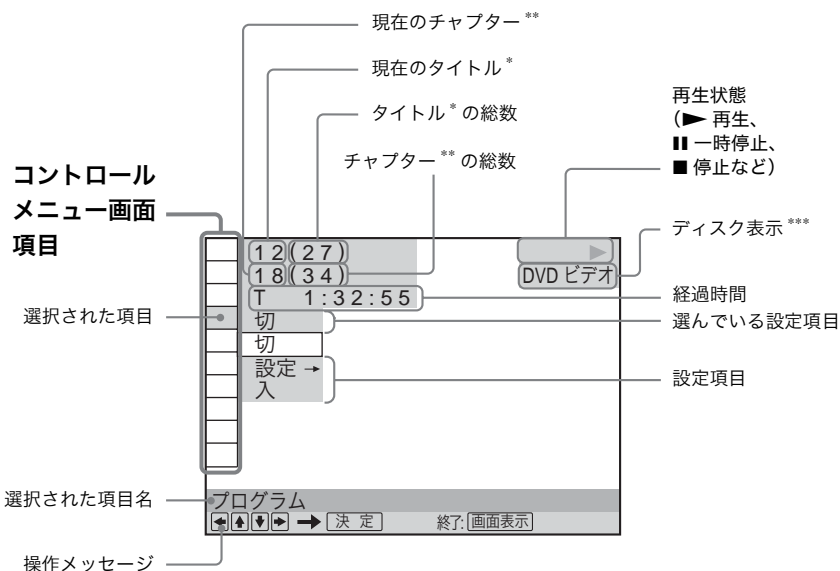
* 凸点（突起）が付いています（数字ボタンは「5」のみ、音量ボタンは「+」のみ）。操作の目印としてお使いください。

コントロールメニュー画面の見かた

ここでは、コントロールメニュー画面について説明します。画面表示ボタンを押して表示したり、繰り返し押して画面を以下のように切り換えます。

コントロールメニュー画面 1
↓
コントロールメニュー画面 2（データ CD のみ）
↓
コントロールメニュー画面　切

コントロールメニュー画面

コントロールメニュー画面 1 と 2 では表示される項目が変わります。また、項目はディスクの種類によって異なります。各項目の詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

例：DVD ビデオ再生時のコントロールメニュー画面

* ビデオ CD（PBC 再生時）のときはシーン、ビデオ CD/CD のときはトラック、データ CD のときはアルバムが表示されます。
** ビデオ CD のときはインデックス、データ CD のときは MP3 音声トラックあるいは JPEG 画像が表示されます。
*** スーパー VCD は、「SVCD」と表示されます。

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを押します。

コントロールメニュー画面項目一覧

項目	項目名・機能・対応するディスク
	タイトル（43 ページ）/ シーン（43 ページ）/ トラック（43 ページ） 再生するタイトルやシーン、トラックを選びます。 DVD-V DVD-RW VCD
	チャプター（43 ページ）/ インデックス（43 ページ） 再生するチャプターやインデックスを選びます。 DVD-V DVD-RW VCD
	アルバム（43 ページ） 再生するアルバムを選びます。 DATA CD
	日付 再生中の JPEG 画像に記録された日付などを表示します。 DATA CD
	ファイル（43 ページ） 再生する JPEG 画像を選びます。 DATA CD
	トラック（43 ページ） 再生するトラックを選びます。 CD DATA CD
	オリジナル / プレイリスト（34 ページ） 再生するタイトルの種類、オリジナルのタイトルあるいは編集して作成されたプレイリストを選びます。 DVD-RW
	時間 / テキスト（44 ページ） 経過時間および残り時間を調べます。 タイムコードを入力して映像や曲を探します。 DVD テキストや CD テキスト、データ CD のトラック名を表示します。 DVD-V DVD-RW VCD CD DATA CD
	プログラム（36 ページ） タイトルやチャプター、トラックを選んで好きな順に再生します。 DVD-V VCD CD
	シャッフル（38 ページ） タイトルやチャプター、トラックをランダム（無作為）な順番で再生します。 DVD-V VCD CD
	リピート（39 ページ） ディスク全体（全タイトル / 全トラック / 全アルバム）または 1 つのチャプター / トラック / アルバムだけを繰り返し再生します。 DVD-V DVD-RW VCD CD DATA CD
	A-B リピート（40 ページ） 再生したい部分を指定して、繰り返し再生します。 DVD-V DVD-RW VCD CD
	シャープネス（54 ページ） 画像の輪郭を強調して、より鮮明な映像にします。 DVD-V DVD-RW VCD DATA CD
	音声映像選択モード（59 ページ） データ CD を再生中に、再生する MP3 音声トラックや JPEG 画像あるいは両方「自動」を選びます。 DATA CD
	スライド送り時間 スライドが画面に表示される時間を指定します。 DATA CD

➡ 次のページへつづく

	スライド効果 スライドショーの間、使用するスライド切り換え時の効果を選びます。 DATA CD
	視聴制限（63 ページ） 本機での再生を禁止する設定をします。 DVD-V VCD CD
	設定（68 ページ） クイック設定（28 ページ） 簡易設定をします。 DVD 再生時の字幕言語やメニューの表示言語、画像や音声の出力について設定します。 カスタム設定（68 ページ） 簡易設定の項目に加え、さまざまな設定をします。 リセット 「設定」での設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。 DVD-V DVD-RW VCD CD DATA CD

ヒント

「切」以外を選んでいるとき、コントロールメニューアイコンが緑に点灯します。
→ （「プログラム」、「シャッフル」、「リピート」、「A-B リピート」、「シャープネス」のみ）。「オリジナル / プレイリスト」では、「プレイリスト」を選んでいるときに、アイコンが緑に点灯します。

接続と準備について

手順 **1** ～ **6** に従って、接続とクイック設定をします。

ご注意

- ノイズや雑音の原因となるのでプラグは端子にしっかりと差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 映像入力端子のないテレビに接続することはできません。
- コンセントから本機および接続する機器のプラグを抜いてから接続してください。

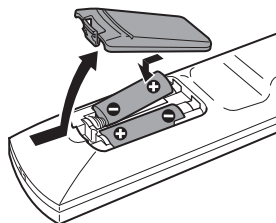
手順 1：付属品を確認する

次の付属品がそろっているかを確認してください。
- 映像音声コード（ピンプラグ× 3 ←→ ピンプラグ× 3）（1）
- リモコン（1）
- 単 3 形乾電池（R6）（2）
- ソニーご相談窓口のご案内 （1）
- 保証書 （1）

付属品がそろっていないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

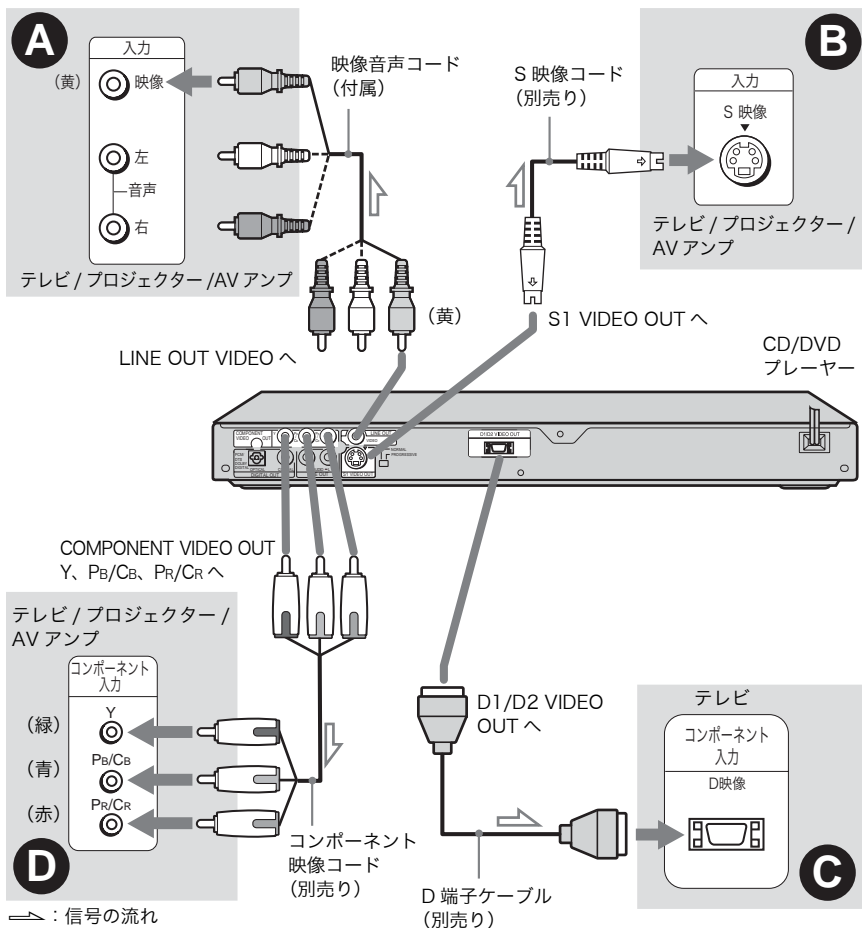
手順 2：リモコンに電池を入れる

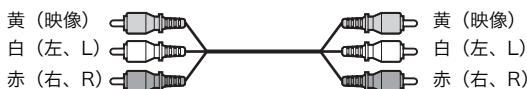
⊕ と ⊖ の向きをリモコンの表示に合わせて、単 3 形乾電池（R6、付属）2 個を入れてください。
本機を操作するときは、本機のリモコン受光部 🅁 にリモコンを向けて操作してください。

➡ 次のページへつづく

ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。
  次のことを必ず守ってください。
  ー 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  ー 乾電池は充電しないでください。
  ー 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  ー 液漏れしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 🅁 に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

手順 3：映像コードをつなぐ

CD/DVD プレーヤーとテレビやモニター、プロジェクター、AV アンプなどを映像コードでつなぎます。お手持ちの機器の入力端子によって、Ⓐ～Ⓓ のつなぎかたから 1 つ選んで、接続します。プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビ等に接続して、プログレッシブ映像をお楽しみになる場合は Ⓒ または Ⓓ の接続をしてください。

Ⓐ 映像入力端子のある機器とつなぐ

映像音声コード（付属）の黄プラグを、黄（映像）端子につなぎます。標準的な映像が楽しめます。

赤プラグと白プラグは音声入力端子とつなぐとき（24 ページ）に使います（テレビのみとつないで映像を出力する場合）。

Ⓑ S 映像入力端子のある機器とつなぐ

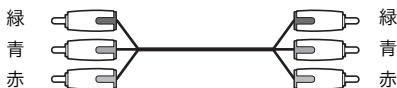
S 映像コード（別売り）を使ってつなぎます。よりきれいな映像が楽しめます。

Ⓒ D 映像入力端子のあるテレビとつなぐ

D 端子ケーブル（別売り）を使ってつなぎます。ケーブル 1 本で簡単にコンポーネント映像で接続でき、映像本来の色を忠実に再現します。
本機は D2 映像信号まで対応しています。プログレッシブ（525p）方式に対応したテレビとこの接続をしたときは、本体の NORMAL/PROGRESSIVE スイッチを「PROGRESSIVE」側にしてください。

音声を出力するには、別に音声コードをつなぎます。

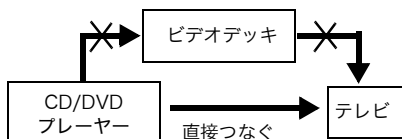
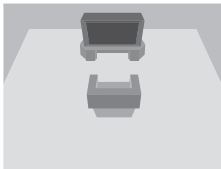
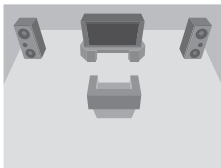
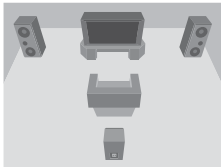
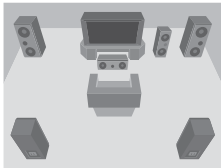
Ⓓ コンポーネント映像（Y、PB/CB、PR/CR）入力端子のある機器とつなぐ

コンポーネント映像コード（別売り）、または映像コード（別売り）の同じ種類で同じ長さのものを 3 本使ってつなぎます。輝度（Y）、色差（PB/CB、PR/CR）信号それぞれ独立して出力されるので、映像の本来の色を忠実に再現します。
お手持ちのテレビがプログレッシブ（525p）方式に対応しているときは、この接続にして、本体の NORMAL/PROGRESSIVE スイッチを「PROGRESSIVE」側にしてください。本機からプログレッシブ信号を出力しているときは、本体の PROGRESSIVE ランプが点灯します。

従来の 4:3 画面テレビとつなぐとき

再生するディスクによっては、画像がご希望の形に表示されないことがあります。表示画像を切り換えるには 70 ページをご覧ください。

➡ 次のページへつづく

ご注意

- ハイビジョン専用コンポーネントビデオ入力（Y/PB/PR）には対応していません。
- 本機はテレビに直接つないでください。信号を本機からビデオデッキなどを経由してテレビに出力すると、画像が乱れる場合があります。テレビに映像音声入力端子がひとつしかない場合は、本機をテレビの映像音声入力端子につなぎます。

- 本機をプログレッシブ（525p）方式に対応したテレビ等につなぎプログレッシブ出力したときに、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをお勧めします。本機とテレビとの互換性に関しては、サービス窓口にお問い合わせください。

手順 4：音声コードをつなぐ

お手持ちの機器に応じた接続方法を選んで、音声コードをつないでください。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続方法を選ぶ

A ～ D のつなぎかたから 1 つを選んでください。

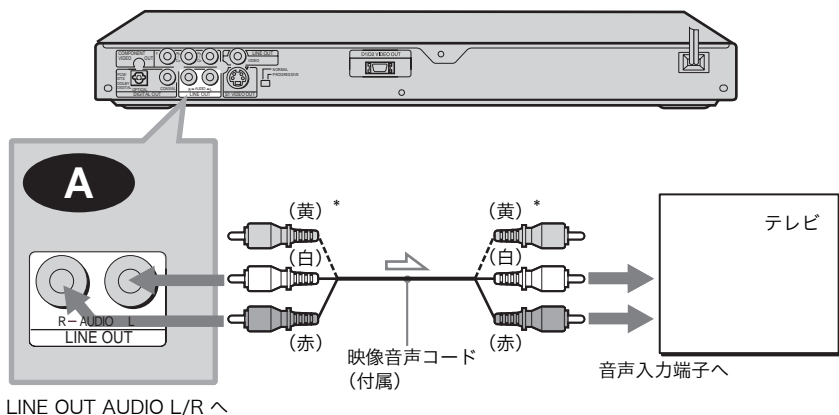
接続する機器	接続	接続（例）
テレビ	A（24 ページ）	
ステレオアンプと 2 台のスピーカー または MD デッキ /DAT デッキ	B（25 ページ）	
ドルビー＊サラウンド（プロロジック）デコーダー付 AV アンプと 3 ～ 6 台のスピーカー	C（26 ページ）	
ドルビーデジタルまたは DTS＊＊ デコーダー付 AV アンプ（デジタル入力端子付）と 6 台のスピーカー	D（27 ページ）	

ヒント
サンプリング周波数が 96kHz の AV アンプを接続するときは、D でつなぎます。

＊ ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
＊＊ DTS および DTS Digital Out は、Digital Theater Systems, Inc. の商標です。

次のページへつづく

Ⓐ テレビとつなぐ

テレビのスピーカーから音を出すときの接続です。

⇨：信号の流れ

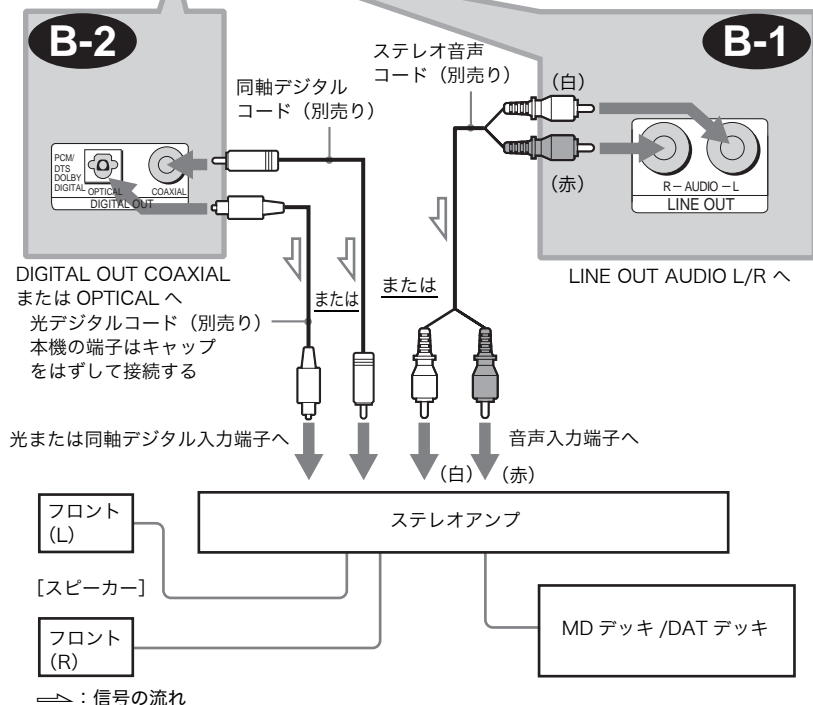
* 映像音声コードの黄プラグは、映像入力端子とつなぐとき（21 ページ）に使います。

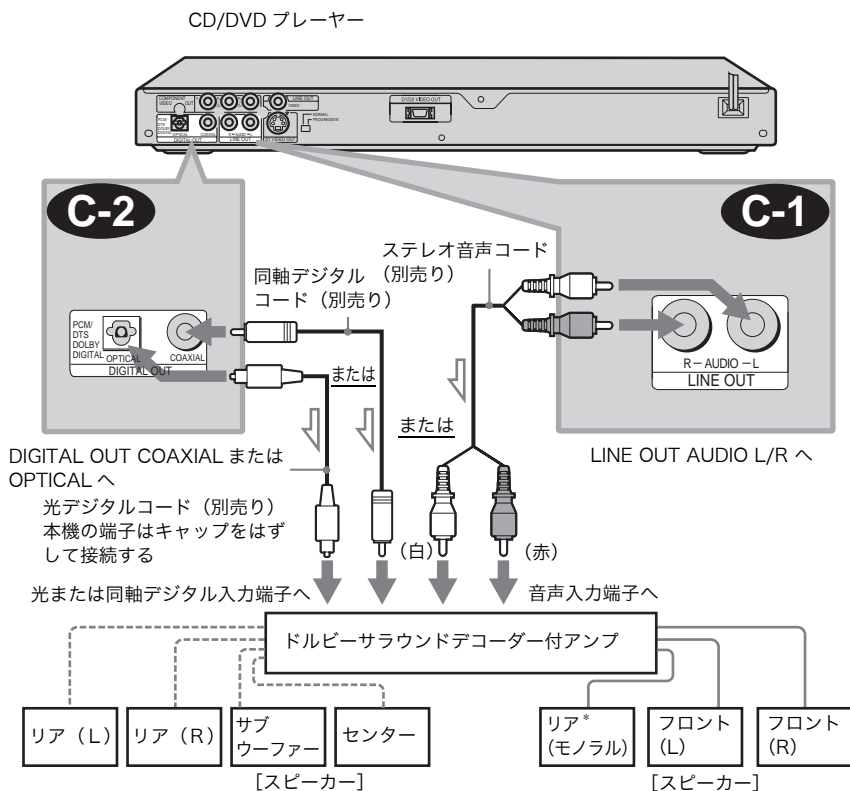
ヒント

モノラルテレビと接続するときは、別売りのステレオ・モノラル変換コードを使います。本機の LINE OUT AUDIO L/R 端子とテレビの音声入力端子をつなぎます。

B ステレオアンプと 2 台のスピーカーにつなぐ /MD デッキ、DAT デッキとつなぐ

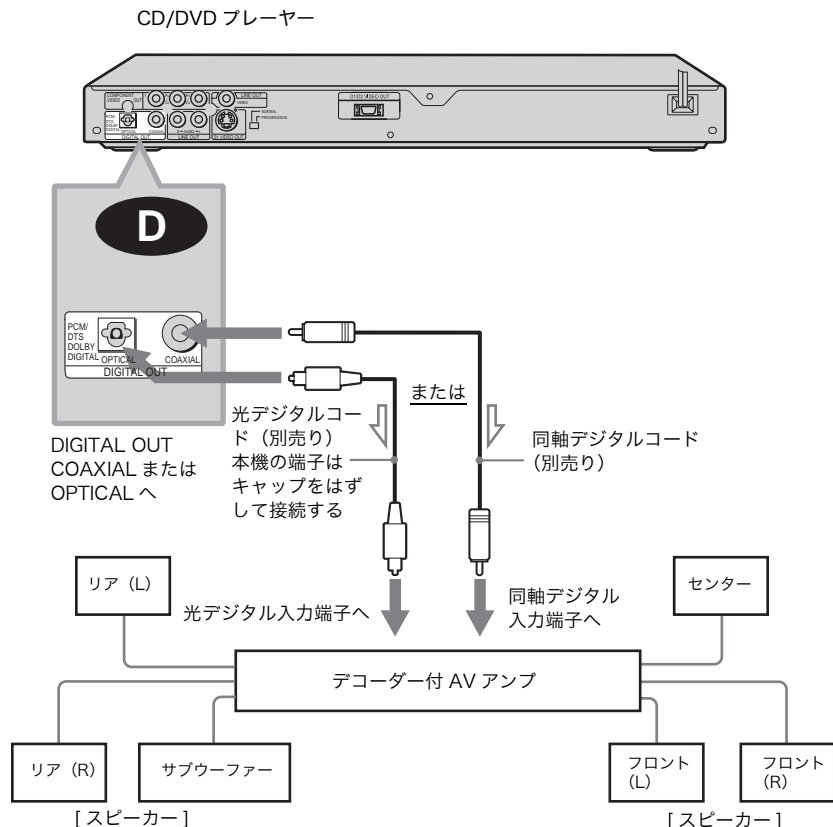
ステレオアンプの音声入力端子が L、R のみのときは B-1 でつなぎます。デジタル入力端子もついているとき、または MD デッキや DAT デッキとつなぐときは B-2 でつなぎます。アンプを経由せず、直接本機と MD デッキや DAT デッキをつなぐこともできます。

➡ 次のページへつづく

C ドルビーサラウンド（プロロジック）デコーダー付 AV アンプと 3 ～ 6 台のスピーカーにつなぐ

ドルビーサラウンド音声、またはマルチチャンネル音声（ドルビーデジタル）を再生するときに、サラウンド効果が得られます。
アンプの音声入力端子が、L、R のみのときは C-1 でつなぎます。デジタル入力端子がついているときは C-2 でつなぎます。

：信号の流れ

* 6 台のスピーカーをつなぐときは、リア（モノラル）はつなぎません。

D ドルビーデジタルまたは DTS デコーダー付 AV アンプ（デジタル入力端子付）と 6 台のスピーカーにつなぐ

この接続で楽しめるサラウンドは、アンプのドルビーデジタルまたは DTS デコーダー機能を使った音声効果です。
本機のサラウンド効果は、お楽しみいただけません。

ヒント

7 台以上のスピーカー（6.1 チャンネル以上）に接続するときは、D でつなぎます。

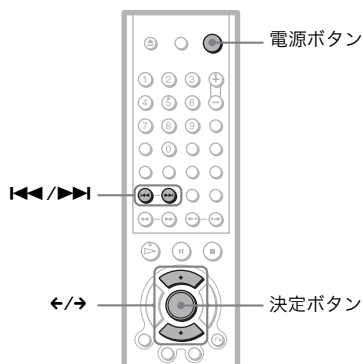
ご注意

- この接続をしたときは、クイック設定で「ドルビーデジタル」を「ドルビーデジタル」に、「DTS」を「入」にします（28 ページ）。
- DTS 音声トラックを聴くために、必ずこの接続にしてください。クイック設定で「DTS」を「入」にしても DTS 音声信号が LINE OUT L/R（AUDIO）端子から出力されなくなります。（28 ページ）。
- サンプリング周波数が 96kHz のアンプを接続するときは、「オーディオ設定」で「48kHz/96kHz PCM」を「96kHz/24bit」にします（72 ページ）。

手順５：電源コードをつなぐ

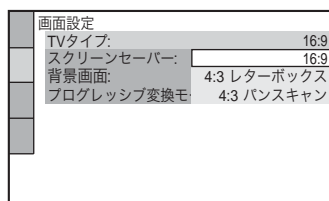
本機およびテレビなどの接続した機器の電源コードを電源コンセントにつなぎます。

手順６：クイック設定をする

以下の手順に沿って基本の設定をします。
１つの設定をとばして次の設定に進むには、▶▶I を押します。１つ前の設定に戻るには、I◀◀ を押します。

1 **テレビの電源を入れる。**

2 **電源ボタンを押す。**

3 **本機の画像が映るように、テレビの入力を切り換える。**
画面の下に「クイック設定するには [決定] を押してください」が表示されます。このメッセージが表示されないときは、コントロールメニュー画面で「設定」の「クイック」を選んで、クイック設定を始めます（69 ページ）。

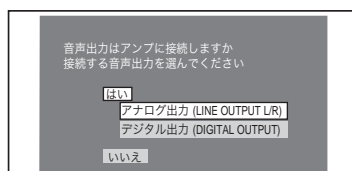
4 **ディスクが入っていない状態で決定ボタンを押す。**
接続したテレビの種類を設定する画面が表示されます。

5 **↑/↓で接続したテレビに合った設定を選ぶ。**

◆ ワイドテレビまたはワイドモードのある４：３画面のテレビと接続したとき

- 「16:9」（70 ページ）

◆ 従来の４：３画面のテレビと接続したとき

- 「4:3 レターボックス」または「4:3 パンスキャン」（70 ページ）

6 **決定ボタンを押す。**
アンプの接続について設定する画面が表示されます。

7 ↑/↓でアンプを使うときの接続端子を選んで決定ボタンを押す。

24 ～ 27 ページで選択した音声コードの接続（A～D）に適した項目を選びます。

A

- 本機をテレビとだけつないでいる場合は「いいえ」を選びます。クイック設定が終了します。接続と設定はこれで完了です。

B-1 または C-1

- 「アナログ出力（LINE OUTPUT L/R)」を選びます。クイック設定が終了します。接続と設定はこれで完了です。

B-2 または C-2 または D

- 「デジタル出力（DIGITAL OUTPUT)」を選びます。ドルビーデジタル音声の出力を設定する画面が表示されます。手順 8 に進みます。

8 ↑/↓で接続したアンプへ出力するドルビーデジタル音声信号の種類を選ぶ。

25 ～ 27 ページで選択した音声コードの接続（B～D）に適した信号を選びます。

B-2 または C-2

- 「ダウンミックス PCM」（73 ページ）

D

- 「ドルビーデジタル」（ドルビーデジタルデコーダー付 AV アンプと接続したときのみ）（73 ページ）

9 決定ボタンを押す。

DTS 音声の出力を設定する画面が表示されます。

10 ↑/↓ で接続したアンプへ DTS 音声信号を出力するかどうかを選ぶ。

25 ～ 27 ページで選択した音声コードの接続（B～D）に適した項目を選びます。

B-2 または C-2

- 「切」（73 ページ）

D

- 「入」（DTS デコーダー付 AV アンプと接続したときのみ）（73 ページ）

11 決定ボタンを押す。

クイック設定が終了します。接続と設定はこれで終わりです。

音声効果をより楽しむ

音声効果をより楽しむには、25 ～ 27ページで選択した音声コードの接続（B～D）にあわせて以下のように設定します。これらはお買い上げ時の設定のため、最初に本機を接続した時に設定を変える必要はありません。
設定の操作については「設定画面を使う」（68 ページ）をご覧ください。

音声コードの接続（24 ～ 27 ページ）

A のとき

- 必要な設定はありません。

B-1 または C-1

- 「ダウンミックス」を「ドルビーサラウンド」に設定する（73 ページ）。

* 音量を下げても音が歪む場合は、「オーディオATT」を「入」にしてください（72 ページ）。

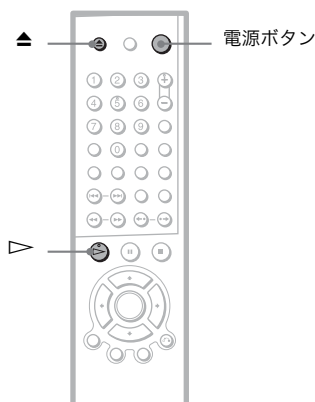
B-2 または C-2 または D のとき

- 「ダウンミックス」を「ドルビーサラウンド」に設定する（73 ページ）。
- 「音声デジタル出力」を「入」に設定する（73 ページ）。

ディスクを再生する

DVD-V DVD-RW VCD CD

DATA CD

再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
ディスクによっては、禁止されている操作もあります。

1 テレビの電源を入れる。

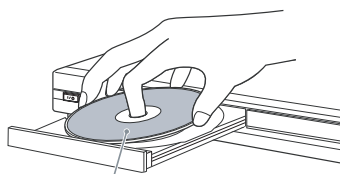
2 電源ボタンを押す。

本機の電源が入ります。

3 本機の画像が映るように、テレビの入力を切り換える。

◆ アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機の音声が出るようにアンプの入力を切り換えます。

4 本体の⏏を押してディスクトレイを開けて、ディスクを置く。

5 ▷ を押す。

ディスクトレイが閉まり、再生が始まります。テレビまたはアンプで音量を調整します。
ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示されることがあります。
DVD ビデオ再生の場合は 34 ページ、ビデオ CD の場合は 35 ページ をご覧ください。

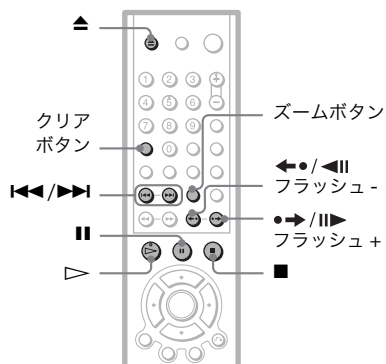
電源を切るには

電源ボタンを押します。本機はスタンバイモード（待機状態）になります。

ヒント

ディスクを再生していないときに 30 分以上本体またはリモコンを操作しなければ、自動的にスタンバイモードになるように設定できます（オートパワーオフ機能）。「視聴設定」の「オートパワーオフ」を「入」に設定してください（71 ページ）。

➡ 次のページへつづく

いろいろな操作方法

こんなときは	こうする
止める	■ を押す
途中で止める	II を押す
途中で止めたあと、つづきを再生する	II または ▷ を押す
再生中にチャプターや映像、曲を進める	⏭ を押す。
再生中にチャプターや映像、曲を戻す	⏮ を押す。
ディスクを取り出す	≜ を押す
少し前の画像に戻る *	再生中に←●/◀II フラッシュ - を押す
少し先の画像に進む **	再生中に●→/II▶ フラッシュ + を押す
画像を拡大する ***	繰り返しズームボタンを押す クリアボタンを押してキャンセルする

* DVD ビデオと DVD-RW、DVD-R のみ
** DVD ビデオと DVD-RW、DVD-R、DVD+RW のみ
*** ビデオ映像と JPEG 画像のみ（背景画除く）。←/↑/↓/→ で拡大した範囲を動かすこともできます。ディスクの内容によって、ズーム機能はキャンセルされる場合があります。

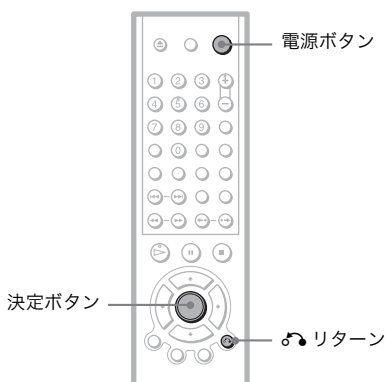
ヒント

- フラッシュ - 機能は、セリフを聞き直すときなどに使うと便利です。
- フラッシュ + 機能は、不要な場面を少しだけとばしたいときなどに使うと便利です。

ご注意

再生場面によっては、フラッシュ - 機能やフラッシュ + 機能が使えないことがあります。

ディスクトレイをロックする（チャイルドロック）

本体とリモコンの ≜ ボタンを使えなくすることができます。子供がディスクトレイを誤って開けるのを防ぐときなどに便利です。

スタンバイモード時にリモコンの リターンを押し、続けて決定ボタン、電源ボタンを順に押す。

電源が入り、本体表示窓に「LOCKED」が表示されます。チャイルドロックが働いているときは、本機とリモコンの ≜ ボタンを使うことができません。

チャイルドロックを解除するには

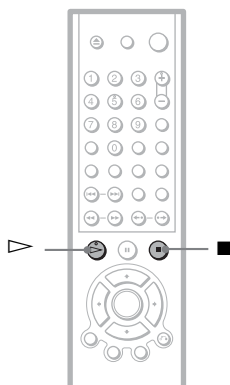
上の操作を繰り返します。

ご注意

コントロールメニューの「設定」で「リセット」（69 ページ）を選んでも、この設定は解除されません。

再生を止めたところから再生する

（つづき再生機能）DVD-V VCD

再生を止めたあと、電源を抜いたり、ディスクを取り出しても、6 枚まで停止した場所を記憶し、つづき再生することができます。7 枚目以降は、1 枚目の停止場所から順に記録を自動的に消去して、新しいディスクの停止場所を記録します。

1 ディスクの再生中、■ を押して、再生を止める。

表示窓に「RESUME」が表示されます。

2 ▷ を押す。

手順 1 で再生を止めたところから、再生が始まります。

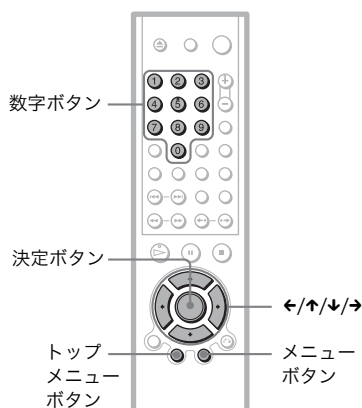
ヒント

ディスクを最初から再生したいときは、■ を 2 回押してから、▷ を押します。

ご注意

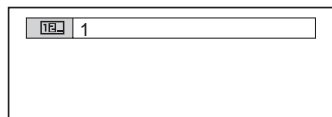
- つづき再生機能を使うには、設定画面の「視聴設定」で「つづき再生機能」を「入」（お買い上げ時の設定）にしておく必要があります（72 ページ）。
- 次の場合、現在再生しているディスクについては、つづき再生が解除されます。
  - 再生モードを変えたとき
  - 設定画面で設定を変更したとき
- DVD-RW（VR モード）と CD、データ CD では現在再生しているディスクのみつづき再生が働きます。以下の場合、つづき再生は解除されます。
  - ディスクを取り出したとき
  - 電源コードを抜いたとき
  - スタンバイモードにしたとき（データ CD のみ）
- ディスクによっては、つづき再生ができない場合があります。
- シャッフル再生中とプログラム再生中には、つづき再生機能は働きません。
- 記録されたディスク（DVD-RW など）をつづき再生設定した場合、他の記録されたディスクも途中から再生されることがあります。その場合は、■ を 2 回押してから、▷ を押してください。最初から再生が始まります。

DVD のメニューを使う DVD-V

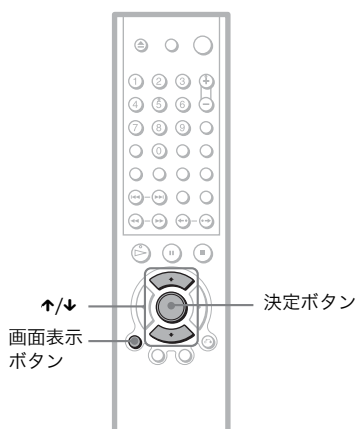
DVD には、DVD 独自のメニューが記録されているものがあります。
複数のタイトル（映像や曲）が記録されている DVD はトップメニューボタンを、ディスクの内容（字幕や音声の言語など）をメニューで選択できる DVD はメニューボタンを使って再生できます。

1 **トップメニューボタンまたはメニューボタンを押す。**

ディスクのメニューが表示されます。メニューの内容はディスクによって異なります。

2 **←/↑/↓/→ または数字ボタンで項目を選ぶ。**

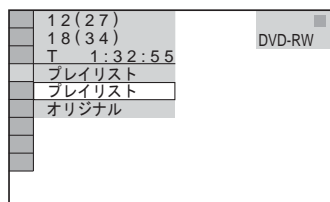
数字ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。数字ボタンで項目を選びます。

3 **決定ボタンを押す。**

DVD-RW のオリジナルとプレイリストを選ぶ DVD-RW

DVD-RW（VR モード）には、ディスクに実際に記録される「オリジナル」のタイトルと、DVD レコーダー等で編集して作成される「プレイリスト」という 2 種類のタイトルがあります。
このようなディスクでは、再生するタイトルの種類を選んで再生することができます。

1 **停止中に画面表示ボタンを押す。**

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 **↑/↓ で （オリジナル / プレイリスト）を選び、決定ボタンを押す。**

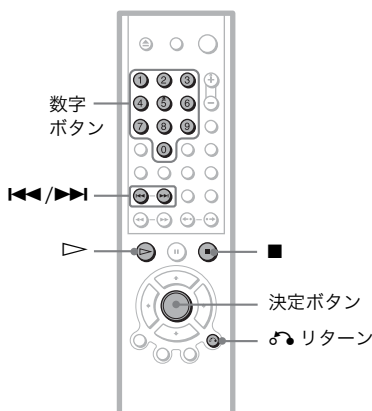
「オリジナル / プレイリスト」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で項目を選ぶ。

- プレイリスト：オリジナルを元に編集して作られたタイトルを再生します。
- オリジナル：実際に記録されているタイトルを再生します。

4 決定ボタンを押す。

プレイバックコントロール機能を使う

（PBC 再生） VCD

テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生や検索ができます（Playback Control（プレイバック コントロール）—PBC 機能）。

1 PBC 対応ビデオ CD を再生する。

選択用のメニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を数字ボタンで選ぶ。

3 決定ボタンを押す。

4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。

操作の方法はディスクによって異なることがあります。ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻るには

リターンを押します。

→ 次のページへつづく

ヒント

PBC 機能を使わないで再生するときは、停止中、⏮ や ⏭ を押して再生したいトラックを選んでから、▷ または決定ボタンを押します。画面上に「PBC を切って再生します」が表示され、通常の再生（トラック番号順に再生）が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。
PBC 再生に戻すには、■ を押して再生を止めたあと、もう 1 度 ■ を押してから ▷ を押して再生を始めます。

ご注意

ディスクによっては手順 3 で決定ボタンを押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、▷ を押してください。

再生モードを使う

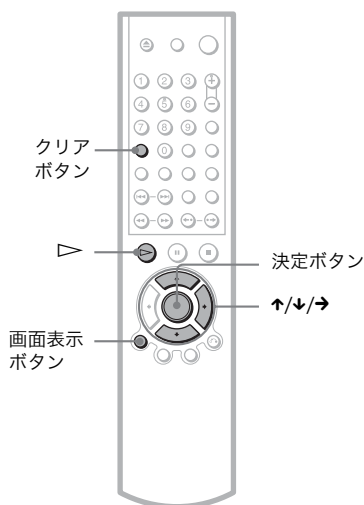
（プログラム / シャッフル / リピート /A-B リピート）

再生モードには次の種類があります。
- プログラム再生（36 ページ）
- シャッフル再生（38 ページ）
- リピート再生（39 ページ）
- A-B リピート再生（40 ページ）

ご注意

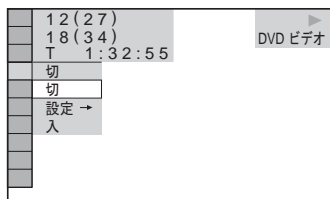
設定した再生モードは、次の場合に解除されます。
ーディスクトレイを開いたとき
ー電源ボタンを押して、本機がスタンバイモード（待機状態）になったとき

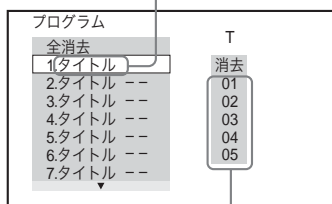
好きな順に再生する（プログラム再生）DVD-V VCD CD

タイトルやチャプター、トラックを好きな順に再生できます。最大 99 個のタイトルやチャプター、トラックをプログラムできます。

1 画面表示ボタンを押す。

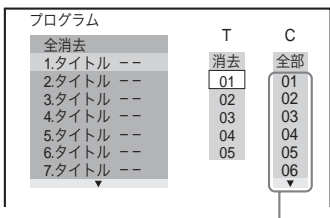
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で (プログラム)を選び、決定ボタンを押す。

「プログラム」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で「設定 →」を選び、決定ボタンを押す。

CD/ ビデオ CD では「トラック」と表示される

ディスクに記録されているタイトルまたはトラック

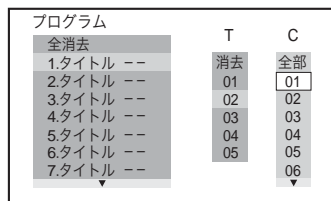
4 → を押す。

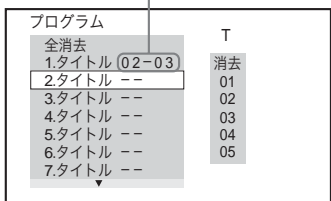
タイトルまたはトラック（「T」）にハイライトが移ります（この場合「01」）。

ディスクに記録されているチャプター

5 プログラム再生したいタイトル / チャプターまたはトラックを設定する。

◆ DVD ビデオのとき

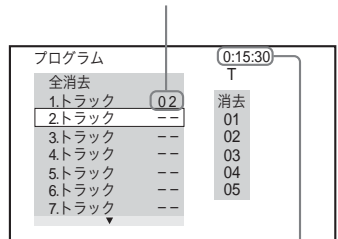
例）タイトル「02」のチャプター「03」を設定する。

↑/↓ または数字ボタンで「T」の「02」を選び、決定ボタンを押します。

次に ↑/↓ または数字ボタンで「C」の「03」を選び、決定ボタンを押します。

設定されたタイトル / チャプター

◆ ビデオ CD/CD のとき

例）トラック「02」を設定する。

↑/↓ または数字ボタンで「T」の「02」を選び、決定ボタンを押します。

設定されたトラック

プログラムしたトラックの総時間

6 続けて再生するタイトル / チャプター / トラックを設定したいときは、手順 4 〜 5 を繰り返す。

タイトル / チャプター / トラックが選んだ順に表示されます。

➡ 次のページへつづく

7 ▷ を押す。
プログラム再生が始まります。
プログラム再生が終わっても、▷ を押せば同じプログラムを再生します。

プログラム再生を止めるには

手順 3 で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。

プログラムの設定を変更または消すには

1. 「好きな順に再生する（プログラム再生）」の手順 1 〜 3 を行う。
2. 手順 4 で、↑/↓ または数字ボタンを使って変更または消したいタイトル、チャプター、トラックのプログラム番号を選び、→ を押す。
3. 手順 5 の操作で新しい設定を入力する。
設定したプログラムを取り消したいときは「T」の「消去」を選び、決定ボタンを押す。

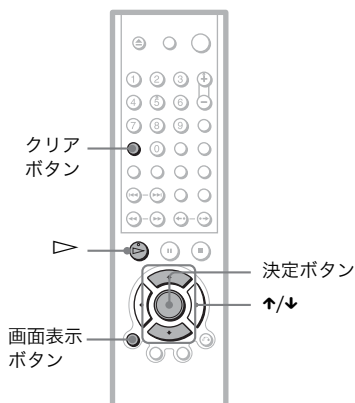
設定したプログラムをすべて消すには

1. 「好きな順に再生する（プログラム再生）」の手順 1 〜 3 を行う。
2. ↑ を押し「全消去」を選ぶ。
3. 決定ボタンを押す。

ヒント
設定したプログラムで「リピート再生」(39 ページ）や「シャッフル再生」(38 ページ）もできます。プログラム再生中に「リピート再生」(39 ページ）または「シャッフル再生」(38 ページ）の手順に沿って操作をします。

ご注意
ビデオ CD やスーパー VCD を PBC 再生しているときは、シャッフル再生できません。

順不同に再生する（シャッフル再生） DVD-V VCD CD

本機が自動的にタイトルやトラックの順番を選んで、再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。

1 **再生中に画面表示ボタンを押す。**
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 **↑/↓ で （シャッフル）を選び、決定ボタンを押す。**
「シャッフル」の設定項目が表示されます。

3 **↑/↓ で順不同にして再生する項目を選ぶ。**

◆ DVD ビデオのとき

- タイトル
- チャプター

◆ ビデオ CD/CD のとき

- トラック

◆ **プログラム再生しているとき**

- 入：タイトルまたはトラック、チャプターをプログラム番号ごとに順不同にして再生します。

4 決定ボタンを押す。

シャッフル再生が始まります。

通常の再生に戻すには

手順 3 で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。

ヒント

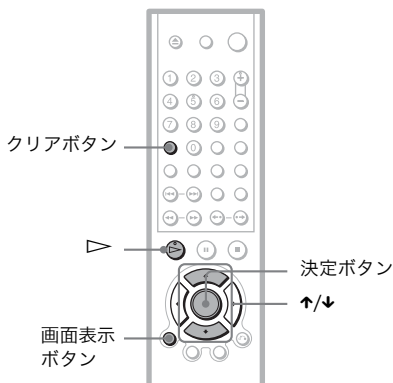
- 停止中にシャッフル再生を設定できます。シャッフルの項目を選び、▷ を押します。シャッフル再生が始まります。
- 「チャプター」を選んだとき、ディスク中の 200 のチャプターまでシャッフル再生できます。

ご注意

ビデオ CD やスーパー VCD を PBC 再生しているときは、シャッフル再生できません。

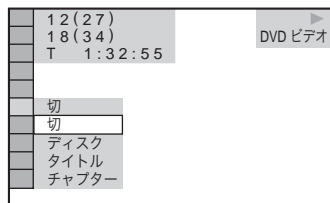
繰り返し再生する（リピート再生）

DVD-V DVD-RW VCD CD DATA CD

ディスクのすべてのタイトルまたはトラック、または 1 つのタイトル / チャプター / トラックを繰り返し再生できます。
シャッフル再生やプログラム再生と組み合わせて使うこともできます。

1 再生中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （リピート）を選び、決定ボタンを押す。

「リピート」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で繰り返し再生をする項目を選ぶ。

◆ **DVD ビデオのとき**

- ディスク：すべてのタイトル
- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

再生する

➡ 次のページへつづく

◆ **DVD-RW のとき**
- ディスク：選んだタイトルの種類（オリジナルまたはプレイリスト）内すべてのタイトル（34 ページ）
- タイトル：再生中のタイトル
- チャプター：再生中のチャプター

◆ **ビデオ CD/CD のとき**
- ディスク：すべてのトラック
- トラック：再生中のトラック

◆ **データ CD（MP3 音声）のとき**
- ディスク：すべてのアルバム
- アルバム：再生中のアルバム内のすべてのトラック
- トラック：再生中のトラック

◆ **データ CD（JPEG 画像）のとき**
- ディスク：すべてのアルバム
- アルバム：再生中のアルバム内のすべてのファイル

◆ **データ CD（MP3 音声と JPEG 画像）のとき**
- ディスク：すべてのアルバム
- アルバム：再生中のアルバム内のすべてのトラックとファイル
- トラック：再生中のトラック（MP3 音声）

◆ **プログラム再生 / シャッフル再生をしているとき**
- 入：プログラム再生、シャッフル再生をリピート再生します。

4 決定ボタンを押す。
繰り返し再生が始まります。

通常の再生に戻すには

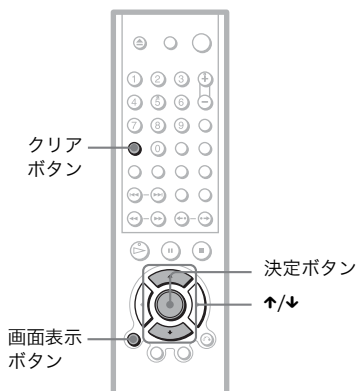
手順 3 で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。

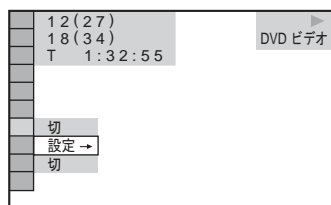
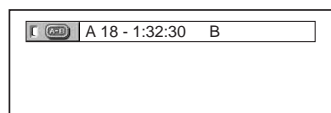
ヒント
停止中にリピート再生を設定できます。リピート再生の項目を選び、▷ を押します。リピート再生が始まります。

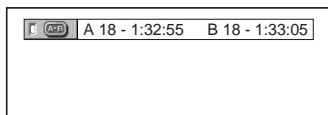
ご注意
- ビデオCDやスーパーVCDでPBC再生しているときは、リピート再生できません。
- MP3音声トラックとJPEG画像ファイルを含むデータ CD を繰り返し再生するとき、それぞれの再生時間が違うと、音声と画像が合わなくなります。
- コントロールメニューの「音声映像選択モード」で「画像（JPEG）」（59 ページ）を選んでいるときは、データ CD の「トラック」は選べません。

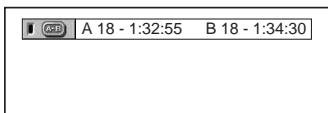
再生したい部分だけを繰り返す（A-B リピート）

DVD-V DVD-RW VCD CD

再生したい部分を 1 か所指定して、繰り返し再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

1 再生中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （A-B リピート）を選び、決定ボタンを押す。
「A-B リピート」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で「設定 →」を選び、決定ボタンを押す。
A-B リピート設定画面が表示されます。

4 再生中に繰り返す部分の始点（A点）で決定ボタンを押す。
始点（A 点）が設定されます。

A 18 - 1:32:55　B 18 - 1:33:05

5 繰り返す部分の終点（B 点）でもう 1 度決定ボタンを押す。
指定した部分が表示され、繰り返して再生されます。

A 18 - 1:32:55　B 18 - 1:34:30

通常の再生に戻すには

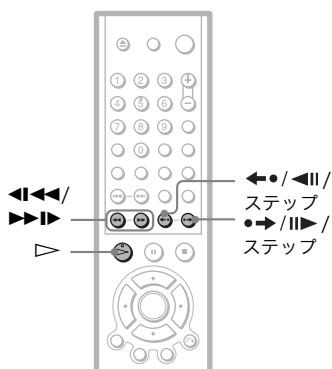
手順 3 で「切」を選びます。または、クリアボタンを押します。

ご注意

- A-B リピートを設定すると、シャッフル再生やリピート再生、プログラム再生は解除されます。
- 複数のタイトルをまたぐ A-B リピート再生はできません。

見たいところ、聞きたいところをさがす

（サーチ / スキャン / スロー再生 / コマ送り）

再生しながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところをさがしたり、スロー再生をすることができます。

ご注意

- DVD、ビデオ CD によっては操作が禁止されている場合があります。
- データ CD では、MP3 音声トラック上でのみ聞きたいところをさがすことができます。

前／次ボタンを使って見たいところ、聞きたいところをさがす（サーチ）

DVD-V　DVD-RW　VCD　CD　DATA CD

本体の I◀◀/▶▶I を使って、見たいところや聞きたいところをさがすことができます。
再生中に再生方向は ▶▶I、逆方向は I◀◀ を押し続けて、見たいところや聞きたいところをさがします。ボタンをはなすと通常の再生に戻ります。

早送り / 早戻しをして見たいところ、聞きたいところをさがす（スキャン）

DVD-V　DVD-RW　VCD　CD　DATA CD

再生中に早送りするには ▶▶▮▶ を、早戻しをするには ◀▮◀◀ を繰り返し押します。
▷ を押すと通常の再生に戻ります。
スキャン中に ◀▮◀◀ または ▶▶▮▶ を繰り返し押すと、再生の速さが変わります（速さはディスクの種類によって異なります）。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

◆再生方向

早送り 3▶▶（DVD ビデオ／ DVD-RW/ ビデオ CD のみ）
×2▶（DVD ビデオ／ CD のみ）

◆逆方向

×2◀ → 早戻し 1◀◀ → 早戻し 2◀◀
早戻し 3◀◀

早戻し 3◀◀（DVD ビデオ／ DVD-RW/ビデオ CD のみ）
×2◀（DVD ビデオのみ）

×2◀/×2▶は通常の約2倍の速度で再生します。
早戻し 1◀◀/ 早送り 1▶▶ より、
早戻し 2◀◀/ 早送り 2▶▶ のほうが、また
早戻し 2◀◀/ 早送り 2▶▶ より、早戻し 3◀◀/ 早送り 3▶▶ のほうが、高速で再生します。

スロー再生する DVD-V DVD-RW VCD

一時停止中に ◀❙◀◀ または ▶▶❙▶ を押します。▷ を押すと通常の再生に戻ります。
スロー再生中、◀❙◀◀ または ▶▶❙▶ を繰り返し押すと、再生の速さが変わります。
2 種類の速さを選ぶことができます。
ボタンを押すたびに次のように表示が切り換わります。

◆再生方向

スロー 2 ❙▶ ←→ スロー 1❙▶

◆逆方向（DVD のみ）

スロー 2◀❙ ←→ スロー 1◀❙

スロー 1❙▶ / スロー 1◀❙よりスロー 2 ❙▶ / スロー 2◀❙のほうが、低速で再生します。

コマ送りで見る DVD-V DVD-RW VCD

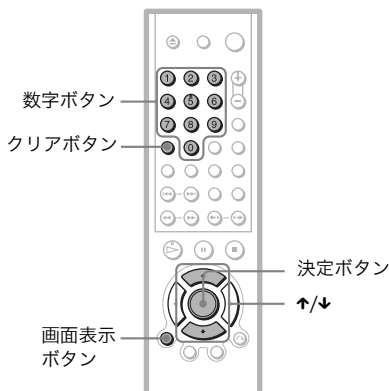
一時停止中に再生方向は•➡/II▶ ステップ、逆方向（DVD のみ）は⬅•/◀II ステップを押します。▷ を押すと通常の再生に戻ります。

ご注意

DVD-RW（VR モード）では、静止画はサーチできません。

タイトル / チャプター / トラック / シーンなどをさがす

（サーチモード）DVD-V DVD-RW VCD CD DATA CD

DVD のタイトル / チャプター / タイトルの経過時間、ビデオ CD や CD、データ CD のトラック / インデックス / シーンで映像や曲を探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられているので、その番号を選んで頭出しします。また、タイトルの経過時間をタイムコードで入力して場面を探すこともできます。

1 再生中に画面表示ボタンを押す（JPEG 画像ファイルを含むデータ CD を再生中のときは、画面表示ボタンを 2 回押す）。

コントロールメニュー画面が表示されます。

➡ 次のページへつづく

2 ↑/↓ で検索項目を選ぶ。

◆ DVD ビデオ /DVD-RW のとき

タイトル
チャプター
時間 / テキスト
タイムコードを入力して場面を探すときは、「時間 / テキスト」を選びます。

◆ ビデオ CD/スーパーVCD を PBC 再生していないとき

トラック
インデックス

◆ ビデオ CD/スーパーVCD を PBC 再生しているとき

シーン

◆ CD のとき

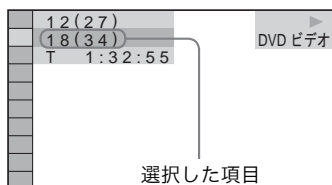
トラック

◆ データ CD（MP3 音声）のとき

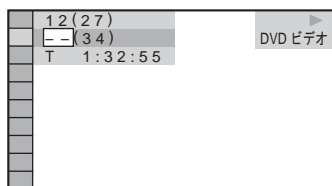
アルバム
トラック

◆ データ CD（JPEG 画像）のとき

アルバム
ファイル

例：　チャプターを選んだとき
「＊＊（＊＊）」が表示されます（＊＊はディスクに記録されている番号です）。
カッコ内の数字はディスクに記録されているチャプターの総数です。

3 決定ボタンを押す。

「＊＊（＊＊）」から「- -（＊＊）」に変更します。

12(27)
- -(34)
T 1:32:55
DVD ビデオ

4 数字ボタンでタイトルやチャプター、トラック、インデックス、シーンなどの番号を入力する。

間違えたときは

クリアボタンを押して、入れなおします。

5 決定ボタンを押す。

選んだ箇所の再生が始まります。

タイムコードを使ってシーンをさがすには（DVD ビデオ /DVD-RW のみ）

1 手順 2 で、　時間 / テキストを選びます。
「T**：**：**」（タイトルの経過時間）を選びます。

2 決定ボタンを押します。
「T**：**：**」から「T- -:- -:- -」に変更します。

3 数字ボタンを使ってタイムコードを入力し、決定ボタンを押します。
たとえば、タイムコードで始まりから 2 時間 10 分 20 秒過ぎた場面を探すには、「2：10：20」と入力します。

ヒント

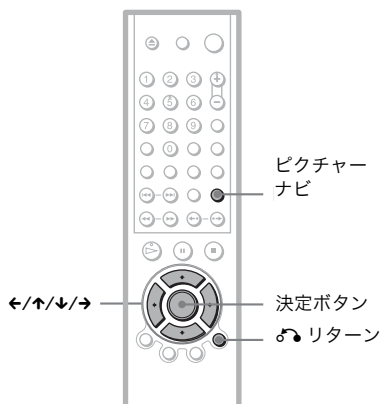
- 数字ボタンと決定ボタンを押してチャプター（DVD ビデオ /DVD-RW）やトラック（CD）を探すことができます。
- タイトルやチャプター、トラックの最初のシーンを 9 つに分割された画面で表示できます。シーンの 1 つを選択することによって、直接再生を始めることができます。（「見たい場面を再生する（ピクチャーナビゲーション）」）。

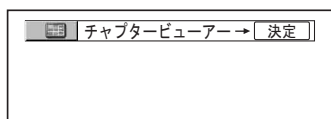
ご注意

- 表示されるタイトル、チャプター、トラックの番号はディスクに記録されている番号と同じです。
- DVD+RW ではタイムコードで場面をサーチできません。

見たい場面を再生する（ピクチャーナビゲーション）

DVD-V　VCD

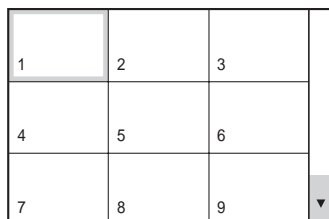
画面を 9 分割して見たい場面を簡単に探すことができます。

1 再生中にピクチャーナビボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

2 ピクチャーナビボタンを繰り返し押して、項目を選ぶ。

それぞれの項目についての詳しくは、各項目での説明をご覧ください。

- チャプタービューアー（DVD ビデオのみ）
- タイトルビューアー（DVD ビデオのみ）
- トラックビューアー（ビデオ CD のみ）

3 決定ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

4 ←/↑/↓/→ でタイトルやチャプター、トラックを選び、決定ボタンを押す。

再生が始まります。

通常の再生に戻すには

リターンを押します。

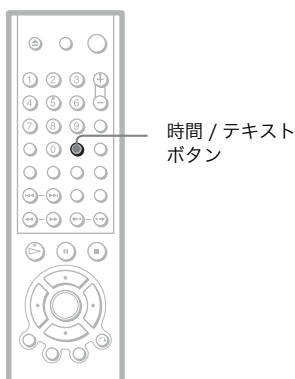
ヒント

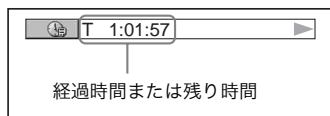
９つ以上のタイトルやチャプターがあるときは、画面の右下に ▼ が表示されます。一番下の場面を選択し、↓ で次のタイトルやチャプターを表示させます。前の画面に戻るには、一番上の場面を選択し、↑ を押します。

ご注意

ディスクによっては、各機能をお楽しみいただけない場合があります。

経過時間と残り時間を見る DVD-V DVD-RW VCD CD DATA CD

再生中のタイトル、チャプター、トラックの経過時間と残り時間を見ることができます。ディスクに記録された DVD や CD のテキストまたは MP3 音声のトラック名を見ることもできます。

1 再生中に時間 / テキストボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

2 時間 / テキストボタンを繰り返し押して、時間表示を切り換える。

表示や切り換えできる時間の種類はディスクによって異なります。

◆ DVD ビデオ /DVD-RW のとき

- T ＊：＊：＊（時：分：秒）
  タイトルの経過時間
- T －＊：＊：＊
  タイトルの残り時間
- C ＊：＊：＊
  チャプターの経過時間
- C －：＊：＊
  チャプターの残り時間

◆ ビデオ CD/ スーパーVCD を PBC 再生しているとき

- ＊：＊（分：秒）
  シーンの経過時間

◆ ビデオ CD（PBC 再生中以外）/CD のとき

- T ＊：＊（分：秒）
  トラックの経過時間
- T －＊：＊
  トラックの残り時間
- D ＊：＊
  ディスクの経過時間
- D －＊：＊
  ディスクの残り時間

◆ スーパー VCD（PBC 再生中以外）のとき

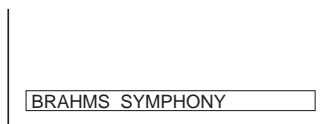
- T ＊：＊ (分：秒)
  トラックの経過時間

◆ データ CD（MP3 音声）のとき

- T ＊：＊（分：秒）
  トラックの経過時間

ディスクの再生情報を確認する

DVD/CD テキストを見るには

手順 2 で、時間 / テキストボタンを繰り返し押します。テキストまたはトラック名がディスクに記録されているときのみ表示されます。記録されていないと「NO TEXT」と表示されます。テキストを変更することはできません。

データ CD（MP3 音声）テキストを見るには

データ CD の MP3 音声トラックを再生している間に時間 / テキストボタンを押すと、トラック名、アルバム名が表示されます。テレビ画面に音声ビットレート（再生中の音声の 1 秒あたりのおよその情報量）も表示することができます。

表示窓で経過時間と残り時間を見るには

表示窓は画面に連動して以下のように切り換わります。

◆ DVD ビデオ /DVD-RW のとき

◆データ CD（MP3 音声）のとき

➡ 次のページへつづく

◆ビデオ CD（PBC 再生時以外）や CD のとき

ヒント

- ビデオ CD で PBC 再生していないときは、テキストの後に、トラックとインデックス番号が表示されます。
- ビデオ CD で PBC 再生しているときは、シーン番号と経過時間が表示されます。
- 1行で表示しきれないDVD/CDテキストまたはトラック名（MP3 音声）は、表示窓にスクロールして表示されます。
- コントロールメニューを使って経過時間と残り時間を見ることができます（16 ページ）。

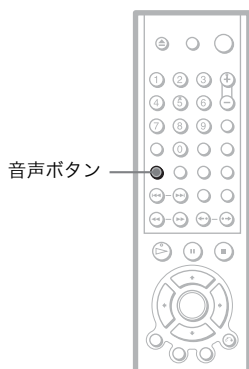
ご注意

- 記録されたディスクによってはテキスト表示できないことがあります。
- 本機は DVD/CD テキストの最初の部分（タイトル名など）のみ表示できます。
- MP3 音声のトラックの経過時間は正確に表示されない場合があります。
- JPEG 画像ファイルのみを含むディスクを再生する場合、コントロールメニューの「音声映像選択モード」が「自動」に設定されていると「NO AUDIO DATA」が、「画像 (JPEG)」に設定されていると「JPEG」が、本体表示窓に表れます。

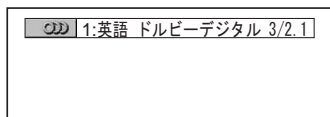
音声を切り換える

DVD-V DVD-RW VCD CD

DATA CD

複数の音声記録方式（ドルビーデジタル、DTS、PCM など）で記録された DVD ビデオを再生しているときに、音声記録方式を選ぶことができます。複数の音声の言語が記録された DVD ビデオでは、言語を選ぶこともできます。
また、CD やデータ CD、ビデオ CD 再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。カラオケのビデオ CD などで、伴奏だけを聞くこともできます。

1 再生中に音声ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

1:英語 ドルビーデジタル 3/2.1

2 音声ボタンを繰り返し押して、音声を選ぶ。

◆ DVD ビデオのとき

選べる言語は DVD ビデオによって異なります。
4 桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」（83 ページ）を参照してください。同じ言語が 2 個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。

◆ DVD-RW のとき

録音された音声トラックが表示されます。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
例：
- 1：主（主音声）
- 1：副（副音声）
- 1：主（主音声）+ 副（副音声）

◆ ビデオ CD/CD/ データ CD（MP3 音声）のとき

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
- ステレオ：通常のステレオ再生
- 1/L：左チャンネルの音（モノラル）
- 2/R：右チャンネルの音（モノラル）

◆ スーパー VCD のとき

- お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
- 1: ステレオ：音声トラック 1 のステレオ再生
- 1:1/L：音声トラック 1 の左チャンネルの音（モノラル）
- 1:2/R：音声トラック 1 の右チャンネルの音（モノラル）
- 2: ステレオ：音声トラック 2 のステレオ再生
- 2:1/L：音声トラック 2 の左チャンネルの音（モノラル）
- 2:2/R：音声トラック 2 の右チャンネルの音（モノラル）

ご注意

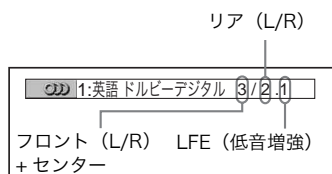
音声トラック 2 が記録されていないスーパー VCD では、「2: ステレオ」または「2:1/L」、「2:2/R」を選ぶと、音声が出力されません。

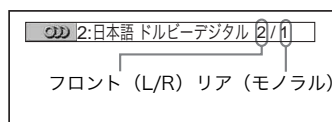
➡ 次のページへつづく

音声信号フォーマットを確認する DVD-V

再生中に繰り返し「音声ボタン」を押すと、現在の音声の信号フォーマット（ドルビーデジタル、DTS、PCM など）が次のように表示されます。

例：

ドルビーデジタル 5.1ch

例：

ドルビーデジタル 3ch

音声信号について

ディスクに記録された音声信号は、次の音声要素（チャンネル）を含みます。各チャンネルは、別々のスピーカーから出力されます。

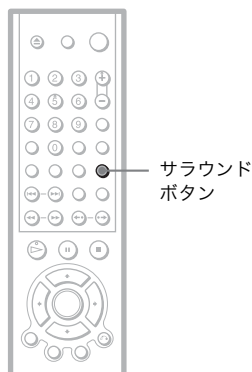
- フロント（L）
- フロント（R）
- センター
- リア（L）
- リア（R）
- リア（モノラル）：ドルビーサラウンド処理された信号または、ドルビーデジタル信号のモノラルのリア成分です。
- LFE（Low Frequency Effect：低音増強）信号

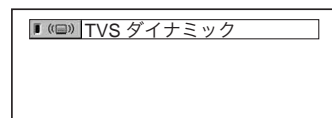
ご注意

「オーディオ設定」で「DTS」を「切」にしている場合（74 ページ）、ディスクに DTS 信号が含まれていても DTS の表示は出ません。

TV バーチャルサラウンドを楽しむ

(TVS) DVD-V

2 台のフロントスピーカーのみをつないでいるとき、TVS（TV Virtual Surround）機能を使うと、リアスピーカーがなくても実在するフロントスピーカー（L、R）の音から創られた仮想サラウンドが楽しめます。TVS 機能は、ソニーが開発したステレオテレビ用サラウンド技術です。
音声信号の出力を「音声デジタル出力」（OPTICAL または COAXIAL 端子）に設定している場合、サラウンド効果を楽しむためには「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定してください（73 ページ）。

1 再生中にサラウンドボタンを押す。

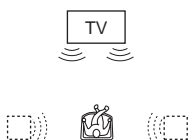
以下の画面が表示されます。

2 サラウンドボタンを繰り返し押して、サラウンド効果を選ぶ。

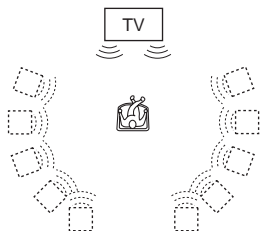
- TVS ダイナミック
- TVS ワイド
- TVS ナイト
- TVS スタンダード

設定を解除するには

手順 2 で「切」を選びます。

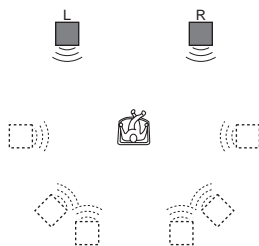
◆ TVS ダイナミック

実在するフロントスピーカー（L、R）の音から、1 組の仮想リアスピーカーを下図のように創り出します。ステレオスピーカー内蔵テレビのように、左右のフロントスピーカーの距離が近いときに効果的です。

◆ TVS ワイド

実在するフロントスピーカー（L、R）の音から、5 組の仮想スピーカーを下図のように創り出します。ステレオスピーカー内蔵テレビのように、左右のフロントスピーカーの距離が近いときに効果的です。

◆ TVS ナイト

小音量でもサラウンド効果を得ることができ、TVS ワイドと同様の仮想スピーカーを創り出します。また、爆発音などの大きな音声が絞られ、セリフなどの小さな音声が聞きとりやすくなります。

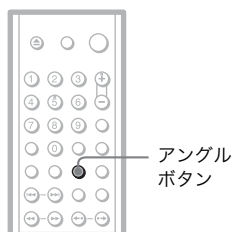
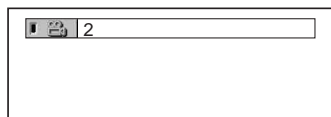
◆ TVS スタンダード

実在するフロントスピーカー（L、R）の音から、3 組の仮想スピーカーを下図のように創り出します。2 台のフロントスピーカーにつないでいるときに効果的です。

L：フロントスピーカー（L）
R：フロントスピーカー（R）
□：仮想スピーカー

ご注意

- リア音声が記録されていないディスクの場合、サラウンド効果は得られません。
- サラウンドを設定しているときは、つないでいる機器（アンプなど）のサラウンドの設定は「切」にしてください。
- より高いサラウンド効果を得るには、スピーカーはリスニングポジションから距離的にも環境的にも左右対称になるように設置します。
- 「TVS ナイト」の効果の度合はディスクによって異なります。

アングルを切り換える DVD-V

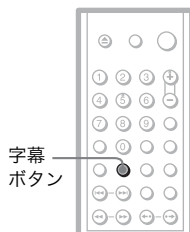
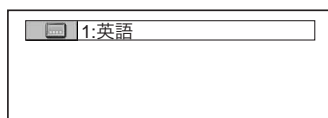
複数のアングルがディスクに記録されているとき、正面から見た景色を右から見た景色に切り換えるなど、好きなアングルを選ぶことができます。
アングルを変えられるときは、表示窓に「🎥」が点灯します。

1 再生中にアングルボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

2 アングルボタンを繰り返し押して、アングル番号を選ぶ。
選んだアングルに切り換わります。

ご注意

ディスクによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

字幕を表示する

DVD-V DVD-RW

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり切り換えたりできます。語学の学習などに便利です。

1 再生中に字幕ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

2 字幕ボタンを繰り返し押して、言語を選ぶ。

◆ DVD ビデオのとき
選べる言語はディスクによって異なります。
4 桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」(83 ページ)を参照してください。

◆ DVD-RW のとき
「入」を選びます。

字幕設定を解除するには

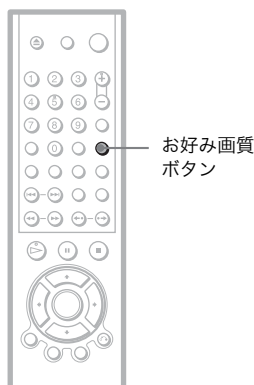
手順 2 で「切」を選びます。

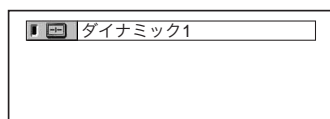
ご注意

ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

画質を調整する（お好み画質モード）

DVD-V DVD-RW VCD DATA CD

本機から出力するDVDやビデオCDやJPEG画像の映像信号を調整し、映像の内容に合わせて画質を設定できます。

1 再生中にお好み画質ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

2 お好み画質ボタンを繰り返し押して、画質の設定を選ぶ。

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

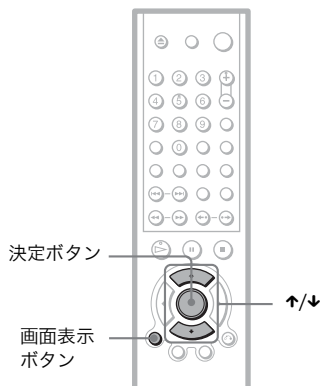
- スタンダード：標準的な画質
- ダイナミック1：コントラストの強いメリハリのある画質
- ダイナミック2：ダイナミック1よりコントラストの強いメリハリのある画質
- シネマ1：黒色を強調して暗い部分の詳細を際立たせる
- シネマ2：白色をより明るく、黒色をより強調して、色あいのコントラストをつける

ヒント

映画を見るときは、「シネマ1」または「シネマ2」をお勧めします。

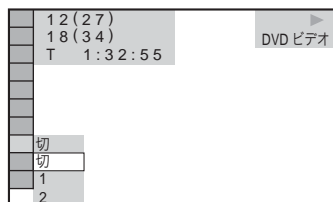
映像の輪郭を調整する（シャープネス）DVD-V

DVD-RW　VCD　DATA CD

画像の輪郭を強調して、画像をより鮮明にはっきり見せます。

1 再生中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （シャープネス）を選び、決定ボタンを押す。

「シャープネス」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ でレベルを選ぶ。

- 1：輪郭を強調する。
- 2：「1」よりも輪郭を強調する。

4 決定ボタンを押す。

設定内容で再生します。

設定を解除するには

手順３で「切」を選びます。

MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルについて

MP3/JPEG とは？

MP3 は ISO/MPEG 規定に準じた音声圧縮技術です。JPEG は映像圧縮技術です。

再生可能なディスク

本機は CD-ROM または CD-R/CD-RW ディスク（データ CD）に記録された MP3 音声と JPEG 画像を再生することができます。
ディスクは ISO9660 のレベル 1/ レベル 2/Joliet 準拠で記録されたものが再生可能です。本機ではマルチセッションで記録したディスクも再生できます。
記録方式について詳しくは CD-R/CD-RW ドライブまたは書き込み用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

マルチセッションディスク再生時のご注意

MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルがディスクの最初のセッションに記録されているときは、その他のセッションの MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルも再生します。
音楽用 CD フォーマットまたはビデオ CD フォーマットの音声や画像が最初のセッションに記録されているときは、最初のセッションだけを再生します。

ご注意

本機ではパケット書式で作成されたデータ CD を再生できないことがあります。その場合には、記録された JPEG 画像をご覧になることができません。

再生可能な MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイル

本機では次のような MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルを再生することができます。

- 「.MP3」（MP3 音声トラック）または「.JPG」または「.JPEG」（JPEG 画像ファイル）の拡張子がある。
- DCF* 画像ファイル形式に準拠している。

* 「カメラファイルシステムのデザイン規定」：
電子情報技術産業協会（JEITA）によって規定されたデジタルカメラの画像標準

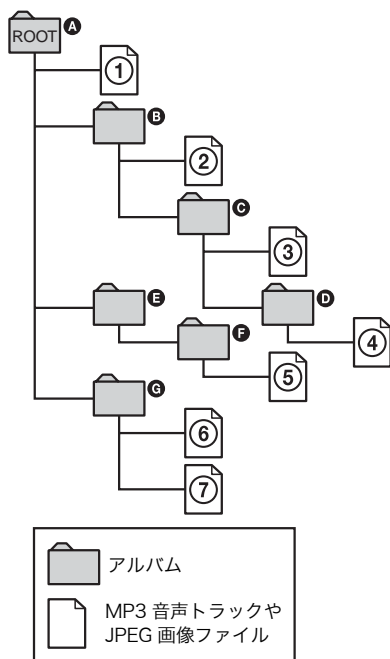
ご注意

- MP3 や JPEG 形式以外のデータに「.MP3」や「.JPG」または「.JPEG」の拡張子をつけると、本機はそれらを再生してしまい、雑音や故障の原因となります。
- 本機は MP3PRO で記録された音声には対応していません。
- JPEG 画像ファイルによっては、再生できないものがあります。

➡ 次のページへつづく

MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルの再生順序

本機はデータ CD に記録されたアルバムや MP3 音声トラック、JPEG 画像ファイルを次にように認識します。

◆ディスク内の構造

データ CD を本機に入れて ▷ を押すと、①→②→③→④→⑤→⑥→⑦ の順序でトラックやファイルを再生します。
アルバムがサブアルバムやトラック、またはファイルを含んでいるときは、サブアルバムに含まれるトラックやファイルの再生が優先されます。（例：C は D を含んでいるので ⑤ より ④ が優先される）

メニューボタンを押したときに表示されるアルバム一覧（57 ページ）では、A→B→C→D→F→G の順でアルバム名が並びます。トラックやファイルを直下に含まないアルバム（例：E）はアルバム一覧に表示されません。

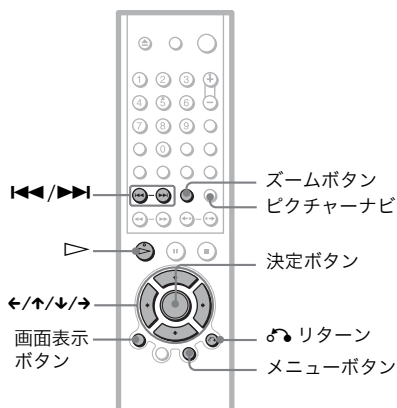
ヒント

- ディスクにトラックやファイルを記録するときは、あらかじめトラック / ファイル名の頭に数字（01、02、03 など）を入れておくと、その数字の順番に再生することができます。
- 多くの階層を持つディスクは再生を始めるのに時間がかかります。ディスクにアルバムを記録するときは第 2 階層までにすることをお勧めします。

ご注意

- データ CD に記録した際の書き込み用ソフトウェアによっては上図の順序で再生されないことがあります。
- アルバム数が 200 以上、または各アルバムのトラック及びファイル数が 300 以上のときは、上図の順序で再生されないことがあります。
- ディスクに記録された200番目のアルバムまで本機は認識できます（このときの数え方は、MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルを含まないアルバムも数に入れてアルバムのみを数えます）。それより後のアルバムは本機では再生できません。
- 再生順が次のアルバムや、それを飛び越して他のアルバムに進むときは、再生に時間がかかる場合があります。

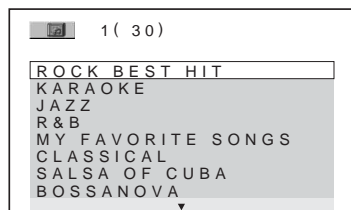
データ CD の MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルを再生する DATA CD

本機では、データ CD(CD-ROM/CD-R/CD-RW) に記録されている MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルを再生できます。

ヒント
- MP3音声トラックやJPEG画像ファイルを再生中に、ディスク情報を見ることができます（46 ページ）。
- MP3 音声を再生中に、リピート再生（39 ページ）や音声（49 ページ）を選ぶことができます。

ご注意
- ディスクを入れると、KODAK Picture CD（コダックピクチャー CD）は、自動的に再生を始めます。
- データ CD に MP3 音声トラックや JPEG 画像ファイルがない場合、「オーディオデータがありません」または「画像データがありません」というメッセージが画面に表示されます。

データ CD からアルバムを選ぶ

1 ディスクトレイにデータ CD を入れる。

データ CD に記録されているアルバムの一覧が表示されます。
再生中のアルバム名は薄暗く表示されます。アルバム一覧はメニューボタンで表示したり消したりできます。

2 ↑/↓で再生したいアルバムを選び、▷ を押す。

選んだアルバムの再生が始まります。

再生を止めるには

■ を押します。

次または前の MP3 音声トラックを再生するには

▶▶I または I◀◀ を押します。それぞれのアルバムの最後のトラックで ▶▶I を押すと、次のアルバムの再生に飛ぶことができます。I◀◀ で前のアルバムに戻ることはできません。前のアルバムに戻るには、アルバム一覧からアルバムを選びます。

次または前の JPEG 画像ファイルを表示するには

→ または ← を押します。それぞれのアルバムの最後のトラックで → を押すと、次のアルバムの再生に飛ぶことができます。← で前のアルバムに戻ることはできません。前のアルバムに戻るには、アルバム一覧からアルバムを選びます。

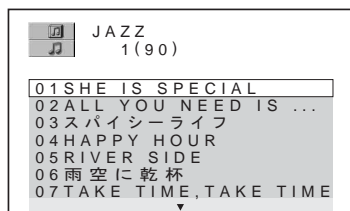
画面表示を消すには

メニューボタンを押します。

→ 次のページへつづく

データ CD から MP3 音声トラックを選ぶ

1 ディスクトレイにデータ CD を入れる。
データ CD に記録されているアルバムが表示されます。再生中のアルバム名は薄暗く表示されます。

2 ↑/↓ でアルバムを選び、決定ボタンを押す。
アルバムに含まれているトラックの一覧が表示されます。

3 ↑/↓ でトラックを選び、決定ボタンを押す。
再生が始まります。メニューボタンでトラック一覧表示を消去できます。メニューボタンを再び押すとアルバム一覧が表示されます。

再生を止めるには

■ を押します。

次または前の MP3 音声トラックを再生するには

▶▶I または I◀◀ を押します。それぞれのアルバムの最後のトラックで ▶▶I を押すと、次のアルバムの再生に飛ぶことができます。I◀◀ で前のアルバムに戻ることはできません。前のアルバムに戻るには、アルバム一覧からアルバムを選びます。

前の画面表示に戻すには

リターンを押します。

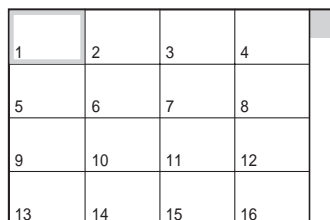
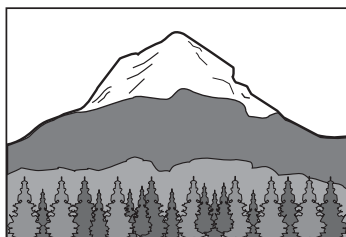
画面表示を消すには

メニューボタンを押します。

データ CD から JPEG 画像ファイルを選ぶ

1 ディスクトレイにデータ CD を入れる。
データ CD に記録されているアルバムが表示されます。再生中のアルバム名は薄暗く表示されます。

2 ↑/↓ でアルバムを選び、ピクチャーナビを押す。
アルバムの画像ファイルが１６個の小画面で表示されます。

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

3 ←/↑/↓/→ で再生したい映像を選び、決定ボタンを押す。
選んだ画像が画面に表示されます。
例）

次または前の JPEG 画像ファイルを表示するには

→ または ← を押します。それぞれのアルバムの最後のトラックで → を押すと、次のアルバムの再生に飛ぶことができます。← で前のアルバムに戻ることはできません。前のアルバムに戻るには、アルバム一覧からアルバムを選びます。

スライドショーで映像を見るには

▷ を押します。選んだ映像からスライドショーが始まります。

再生を止めるには

■ を押します。

ヒント

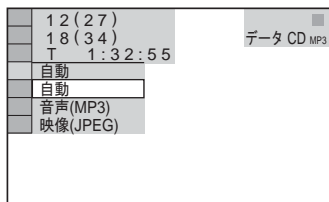
- スクロールボックスは画面の右側に表示されます。さらに表示したいときは、一番下の映像を選び ↓ を押します。前の画面に戻るには、一番上の映像を選び ↑ を押します。
- JPEG 画像ファイルを再生中に、スライドショーの時間（61 ページ）やスライド効果（62 ページ）、シャープネス（54 ページ）を変更することもできます。

スライドショーを音声付きで再生する

最初に MP3 音声トラックと JPEG 画像ファイルをデータ CD 上の同じアルバムに入れると、音声付きスライドショーを楽しむことができます。データ CD を再生するときに、以下のように「自動」モードを選びます。

1 ディスクトレイにデータ CD を入れる。
データ CD に記録されているアルバムが表示されます。

2 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ↓/↑ で DATA（音声映像選択モード）を選び、決定ボタンを押す。
音声映像選択モードの設定項目が表示されます。

4 ↓/↑ で設定を選び、決定ボタンを押す。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

◆自動：
JPEG 画像ファイルを、音声（MP3 音声トラック）付きスライドショーとして再生します。

◆音声 (MP3)：
MP3 音声トラックを続けて再生します。

◆画像 (JPEG)：
JPEG 画像をスライドショーとして再生します。

5 メニューボタンを押す。
データ CD に記録されているアルバム一覧が表示されます。

6 ↓/↑ で再生したいアルバムを選び、▷ を押す。
選んだアルバムの再生が始まります。

アルバム一覧は、メニューボタンで表示したり消したりできます。

ヒント

- JPEG 画像を再生中に、スライドショーの時間（61 ページ）やスライド効果（62 ページ）、シャープネス（54 ページ）を変更することもできます。
- スライドショーに同じ音声トラックを付けて再生したい場合、そのトラックをリピート再生してください（39 ページ）。
- 「自動」を選んだときは、アルバム内の 300 の MP3 トラック、および 300 の JPEG ファイルまでを認識することができます。「音声（MP3）」や「画像（JPEG）」を選んだときは、それぞれ 600 ずつ認識可能です。選択モードにかかわらず、最大 200 アルバムまで認識できます。

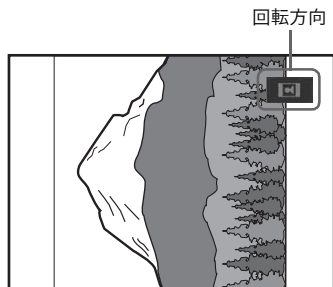
➡ 次のページへつづく

ご注意

- 同一アルバムに含まれていない場合、JPEG ファイルと MP3 トラックを同時に再生することはできません。
- JPEG画像ファイルの再生時間がMP3音声より長い場合、映像スライドショーは音声なしで続けられます。
- MP3音声トラックがJPEG画像の再生時間より長い場合、音声トラックはスライドショーなしで続けられます。
- データ CD に MP3 音声トラックも JPEG 画像も無い場合、「オーディオデータがありません」また「画像データがありません」というメッセージが画面に表示されます。
- 「音声映像選択モード」が「音声（MP3)」に設定されていると、ピクチャーナビボタンは使用できません（59 ページ）。
- 大きなファイルサイズの MP3 音声トラックデータと JPEG 画像ファイルデータでの同時再生の際に、音声が途切れることがあります。ファイル作成時、MP3 音声のビットレートは 128kbps 以下を使うことをおすすめします。128kbps 以下にしても音声が途切れる場合は、JPEG 画像ファイルのサイズを小さくしてください。

JPEG 画像を回転させる

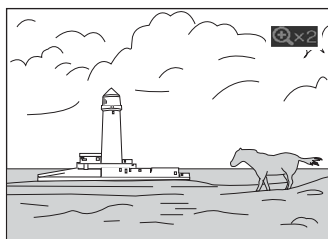
JPEG 画像を画面に表示しているときに、90 度ずつ回転させることができます。

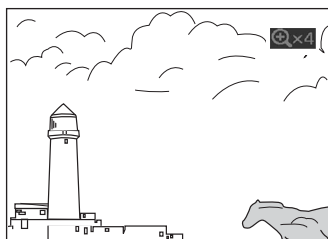
画像を見ながら ↑/↓ を押します。↑ を押すたびに反時計回りに 90 度回転します。↑ を 1 回押したときは、次のようになります。

通常に戻すにはクリアボタンを押します。

JPEG 画像を拡大する

JPEG 画像を画面に表示しているときに、ズーム機能で画像を拡大させることができます。

◆ズームボタンを 1 回押す。

実際の大きさの 2 倍に拡大します。

◆ズームボタンを 2 回押す。

前の大きさの 2 倍（実際の大きさの 4 倍）に拡大します。

実際の大きさに戻すには

クリアボタンを押します。

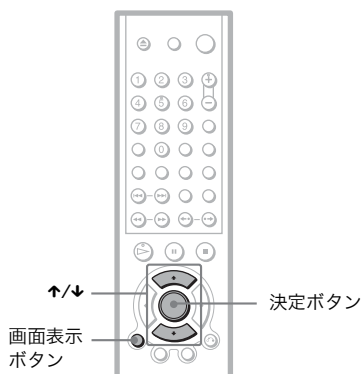
ヒント

←/↑/↓/→ で拡大した範囲を動かすこともできます。

ご注意

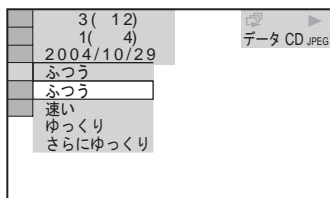
- →/← で前または次の画像を選択すると、JPEG 画像の回転機能をキャンセルします。
- ↑/↓ またはズームボタンを押すと、スライドショーは停止します。
- アルバムの最初の画像を再生中に ← を押しても何も変わりません。

スライドショーの時間を設定する DATA CD

スライドショーを使って JPEG 画像ファイルを再生するとき、スライドが画面に表示される時間を設定することができます。

1 画面表示ボタンを 2 回押す。

JPEG 用のコントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （スライド送り時間）を選び、決定ボタンを押す。

「スライド送り時間」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で設定を選ぶ。

お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

◆ **ふつう：**
約 6 ～ 9 秒間表示する。

◆ **速い：**
「ふつう」より短く表示する。

◆ **ゆっくり：**
「ふつう」より長く表示する。

◆ **さらにゆっくり：**
「ゆっくり」より長く表示する。

4 決定ボタンを押す。

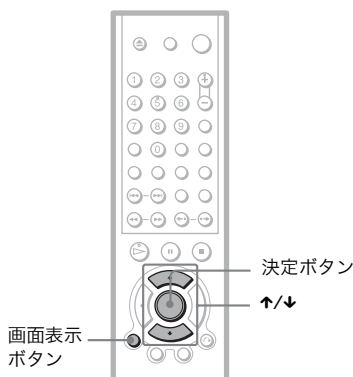
選択された設定が反映されます。

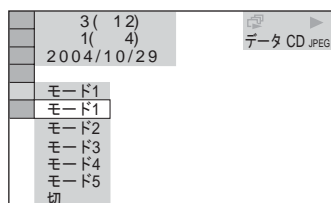
ご注意

プログレッシブ JPEG 画像ファイルや 300 万画素以上の JPEG 画像ファイルでは、表示するまでに時間がかかるものがあります。その場合、スライド送り時間が設定よりも長く感じられる場合があります。

画像ファイルにスライドショーでのスライド効果を設定する

DATA CD

JPEG 画像ファイル再生時に、スライドショーを見るときのスライドの出方を選ぶことができます。

1 画面表示ボタンを 2 回押す。
JPEG 用のコントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で ［アイコン］（スライド効果）を選び、決定ボタンを押す。
「スライド効果」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で設定を選ぶ。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

◆ **モード 1：**
画像が上から下に向かって表示されます。

◆ **モード 2：**
画像が左から右に向かって表示されます。

◆ **モード 3：**
画像が画面中央から外側に向かって表示されます。

◆ **モード 4：**
ランダムに選ばれたスライド効果が適用されます。

◆ **モード 5：**
次の画像が前の画像に重なって現れます。

◆ **切：**
スライド効果は働きません。

4 決定ボタンを押す。
選んだ設定が適用されます。

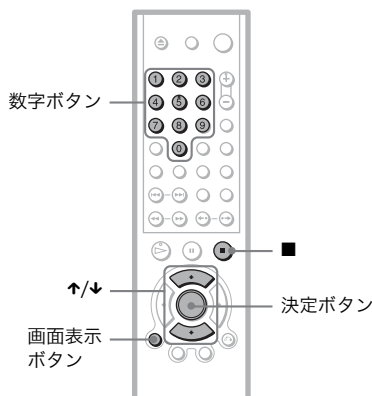
ディスクの再生を制限する（カスタム視聴制限、視聴制限）

本機には、ディスクの再生を制限する次の2 種類の機能があります。
- カスタム視聴制限
  本機で特定のディスクを再生できないようにする。
- 視聴制限
  視聴制限つき DVD ビデオの再生できるシーンを制限する。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し替えて再生します。

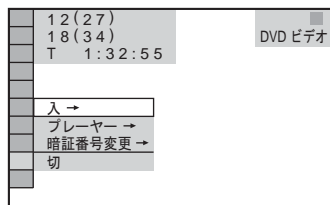
カスタム視聴制限も視聴制限も、登録した同じ暗証番号を使って設定します。

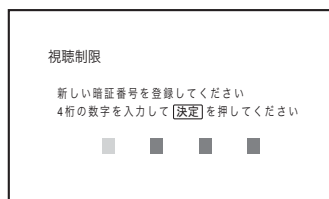
カスタム視聴制限—設定する

DVD-V VCD CD

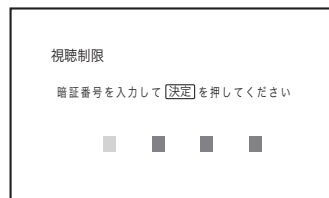
登録した暗証番号を使って、40 枚までのディスクにカスタム視聴制限を設定することができます。41 枚目のディスクを設定すると、1 番最初に設定したディスクの制限が解除されます。

1 設定したいディスクを入れる。
ディスクを再生しているときは、■ を押して再生を止めます。

2 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ↑/↓ で （視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。

4 ↑/↓ で「入 →」を選び、決定ボタンを押す。

◆ 暗証番号が登録されていないとき
暗証番号登録の画面が表示されます。

数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押します。
暗証番号確認の画面が出ます。

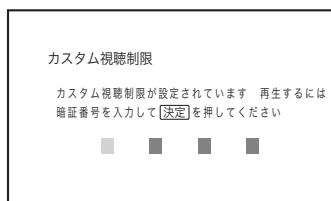
◆ 暗証番号がすでに登録されているとき
暗証番号入力の画面が出ます。

➡ 次のページへつづく

5 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
「カスタム視聴制限を設定しました」と表示され、コントロールメニュー画面に戻ります。

カスタム視聴制限を解除するには

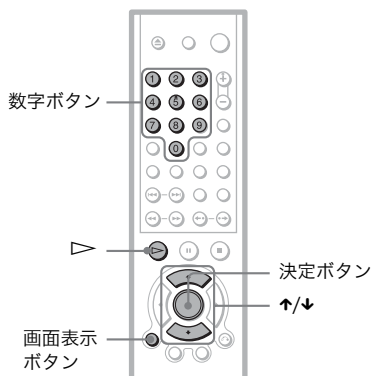
1 「カスタム視聴制限―設定する」の手順１～３を繰り返す。
2 ↑/↓で「切 →」を選び、決定ボタンを押す。
3 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

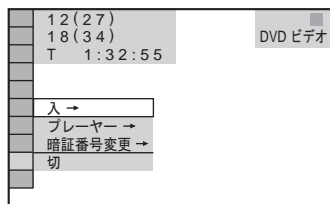
カスタム視聴制限―再生する

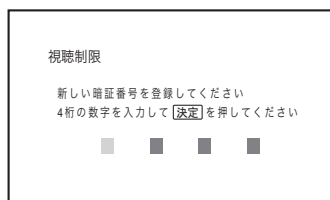
1 カスタム視聴制限が設定されたディスクを入れる。
「カスタム視聴制限」の画面が表示されます。

2 数字ボタンで４桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生できる状態になります。

ヒント
暗証番号を忘れてしまったときは、「カスタム視聴制限」画面で、暗証番号を入力する案内が表示されているとき、6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力します。画面に、新しい４桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。

視聴制限―設定する DVD-V

DVDビデオには、地域ごとに設けられたレベル（見る人の年齢など）によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。視聴制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓で（視聴制限）を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓で「プレーヤー →」を選び、決定ボタンを押す。

◆ 暗証番号が登録されていないとき
暗証番号登録の画面が表示されます。

数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
暗証番号確認の画面が出ます。

◆ 暗証番号がすでに登録されているとき

暗証番号入力の画面が出ます。

4 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

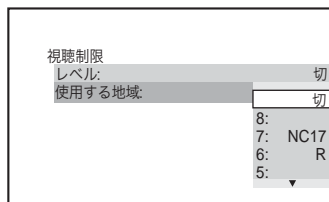
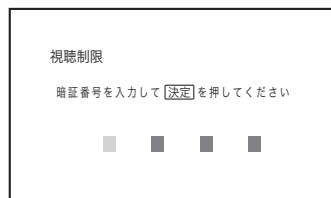
視聴制限のレベル設定変更の画面が表示されます。

5 ↑/↓ で「使用する地域」を選び、決定ボタンを押す。

「使用する地域」の選択項目が表示されます。

6 ↑/↓ で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、決定ボタンを押す。

地域が選ばれます。
「その他 →」を選んだときは、66ページの表から地域コードを選び、数字ボタンで入力します。

7 ↑/↓ で「レベル」を選び、決定ボタンを押す。

「レベル」の選択項目が表示されます。

8 ↑/↓ で制限するレベルを選び、決定ボタンを押す。

視聴年齢制限の設定が終了します。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

視聴制限を解除するときは

手順8で「レベル」を「切」にします。

視聴制限—再生する

1 ディスクを入れて、▷ を押す。
視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。
再生が始まります。

ヒント

登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを取り出し、「視聴制限—設定する」の手順1～3にしたがって操作します。暗証番号を入力する案内が表示されたら、6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して、決定ボタンを押します。画面に新しい4桁の暗証番号を登録する案内が表示されます。
新しい暗証番号を入力して、ディスクを本機に入れなおし、▷ を押します。暗証番号入力画面が表示されるので、新しい暗証番号を入力します。

ご注意

- ディスクによっては、コントロールメニューが別の項目を表示することがあります。
- 視聴制限機能がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。

➡ 次のページへつづく

• ディスクによっては、再生中に視聴設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。つづき再生が解除されたときに、設定したもとのレベルに戻ります。

◆地域コード

使用する地域	コード番号	使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044	チリ	2090
イギリス	2184	デンマーク	2115
イタリア	2254	ドイツ	2109
インド	2248	日本	2276
インドネシア	2238	ニュージーランド	2390
オーストラリア	2047	ノルウェー	2379
オーストリア	2046	パキスタン	2427
オランダ	2376	フィリピン	2424
カナダ	2079	フィンランド	2165
韓国	2304	ブラジル	2070
シンガポール	2501	フランス	2174
スイス	2086	ベルギー	2057
スウェーデン	2499	ポルトガル	2436
スペイン	2149	マレーシア	2363
タイ	2528	メキシコ	2362
中国	2092	ロシア	2489

暗証番号を変更するには

1 停止中に画面表示ボタンを押す。
コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で [アイコン] (視聴制限) を選び、決定ボタンを押す。
「視聴制限」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で「暗証番号変更 →」を選び、決定ボタンを押す。
暗証番号入力の画面が表示されます。

4 数字ボタンで 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

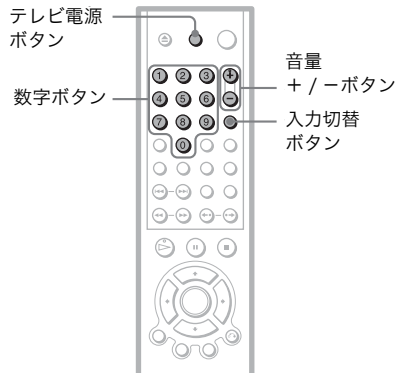
5 数字ボタンで新しい 4 桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

6 確認のため、数字ボタンでもう一度暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。

暗証番号を間違えたときは

決定ボタンを押す前に、← を押して入力しなおします。

付属のリモコンでテレビを操作する

リモコン信号をお手持ちのテレビのメーカーに合わせると、本機のリモコンでテレビの音量や電源などを操作できます。

1 リモコンのテレビ電源ボタンを押したまま、テレビのメーカー番号（2 桁）を数字ボタンで入力する。

2 入力した後、テレビ電源ボタンをはなす。

メーカー番号

メーカー番号が 2 つ以上あるときは、順に試してテレビが操作できる番号をお選びください。

テレビのメーカー	メーカー番号
ソニー	01（お買い上げ時の設定）、12
アイワ	01（お買い上げ時の設定）、17
NEC	09
三星電子（SAMSUNG）	18、19
三洋電機	07
シャープ	08
東芝	03
日本ビクター	06
日立製作所	04
フナイ	14
松下電器	02、13
三菱電機	05

以下のボタンを使ってテレビの操作ができるようになります。

押すボタン	できること
テレビ電源	テレビの電源を入／切する。
音量＋／－	テレビの音量を調整する。
入力切替	テレビの入力を切り換える。

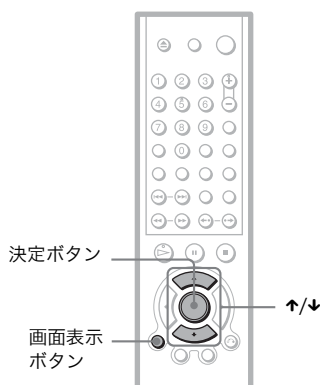
ご注意

- テレビによってはメーカー番号を合わせても操作できないことや、一部のボタンが使えないことがあります。
- メーカー番号を入力すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの電池を取り換えたときは、メーカー番号が自動的にお買い上げ時の設定に戻ることがあります。その場合は、メーカー番号をもう一度入力し直してください。

設定画面を使う

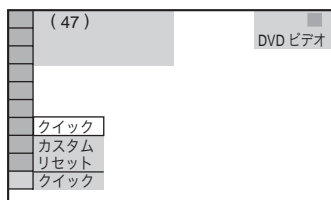
設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVD の字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。各項目について詳しくは、69 ～ 74 ページをご覧ください。

ご注意

あらかじめ再生条件がディスクに設定されているものがあります。その場合はディスクの情報が有効になります。

1 停止中に画面表示ボタンを押す。

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ↑/↓ で （設定）を選び、決定ボタンを押す。

「設定」の設定項目が表示されます。

3 ↑/↓ で「カスタム」を選び、決定ボタンを押す。

設定画面が表示されます。

4 ↑/↓ で「言語設定」「画面設定」「視聴設定」「オーディオ設定」の中から、設定したい項目を選び、決定ボタンを押す。

選択した項目の画面が表示されます。

例）「画面設定」

5 ↑/↓ でさらに設定項目を選び、決定ボタンを押す。

設定項目の内容が一覧表示されます。

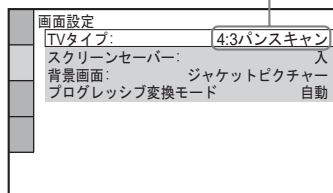
例）「TV タイプ」の設定内容

6 ↑/↓ で設定内容を選び、決定ボタンを押す。

設定内容が選ばれ、設定が終了します。

例）「4：３パンスキャン」

選択した設定内容

画面設定
TVタイプ: 4:3パンスキャン
スクリーンセーバー: 入
背景画面: ジャケットピクチャー
プログレッシブ変換モード 自動

クイック設定をするには

手順 3 で「クイック」を選んで、決定ボタンを押すとクイック設定ができます。「手順 6：クイック設定をする」（28 ページ）の手順 5 以降にしたがって、設定していきます。

お買い上げ時の設定に戻すには

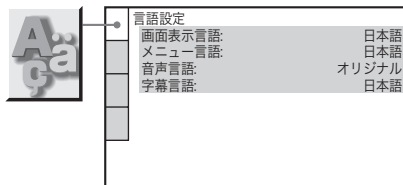
1 手順 3 で「リセット」を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓ で「はい」を選ぶ。
「いいえ」を選び、決定ボタンを押すとコントロールメニュー画面に戻ります。

3 決定ボタンを押す。
すべての設定をリセットするまで数秒かかります。
リセット中はリモコンの電源ボタンや本体の I/⏻（電源）ボタンを押して、電源を切らないでください。

表示言語や音声言語の設定 （言語設定）

画面や音声の言語を設定します。

設定画面で「言語設定」を選びます（「設定画面を使う」68 ページ）。

◆画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。

◆メニュー言語（DVD ビデオのみ）

ディスクのメニューの言語を切り換えます。

◆音声言語（DVD ビデオのみ）

音声の言語を切り換えます。
「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

◆字幕言語（DVD ビデオのみ）

字幕の言語を切り換えます。
「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

ヒント

「メニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他 →」を選んだときは、言語コード一覧表（83 ページ）から言語コードを選び入力してください。数字ボタンで言語コードを入力します。

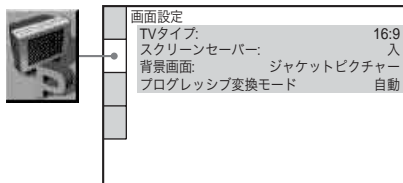
ご注意

「メニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。

画像に関する設定

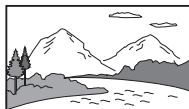
（画面設定）

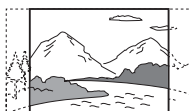
接続するテレビに合わせて設定します。

設定画面で「画面設定」を選びます（「設定画面を使う」68 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

◆ TV タイプ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の 4：3 画面テレビ）を設定します。

16:9	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき
4:3 レターボックス	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する
4:3 パンスキャン	4:3 画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する

16:9

4:3 レターボックス

4:3 パンスキャン

ご注意

DVD によっては「4:3 レターボックス」あるいは「4:3 パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

◆スクリーンセーバー

一時停止または停止したままで 15 分経つか、CD やデータ CD（MP3 音声）を 15 分以上再生すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き（残像現象）を防ぐのに役立ちます。▷ を押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。

入	スクリーンセーバーを使う
切	スクリーンセーバーを使わない

◆背景画面

停止中や CD/ データ CD（MP3 音声）再生中などの、画面の背景色や背景画面を設定します。

ジャケットピクチャー	ディスク（CD-EXTRA など）にあらかじめ記録されているジャケットピクチャー（静止画像）を表示する。ディスクにジャケットピクチャーが記録されていないときは、「グラフィックス」の画像が表示される
グラフィックス	あらかじめ本機に記録されている静止画像を表示する
青	背景色を「青」にする
黒	背景色を「黒」にする

NORMAL/ PROGRESSIVE スイッチを PROGRESSIVE 側に合わせたら

本機の COMPONENT VIDEO OUT 端子でプログレッシブ方式に対応したテレビにつなぎ、NORMAL/PROGRESSIVE スイッチを PROGRESSIVE 側に合わせると (PROGRESSIVE ランプが点灯)、プログレッシブ（525p）映像信号を細かく調整することができるようになります。

◆プログレッシブ変換モード

DVD の映像素材には、大きく分けてフィルム素材とビデオ素材があります。ビデオ素材は、1 秒 30 フレーム、60 フィールドで DVD に記録されたもので、一般的にテレビドラマやテレビアニメーションなどの番組があります。フィルム素材は、1 秒 24 フレームで DVD に記録されたもので、映画フィルムの多くがこれにあたります。DVD の中には、ビデオ素材とフィルム素材の両方が記録されているものがあります。プログレッシブモード（1 秒あたり 60 フレーム）での出力時にこれらの映像を自然に再現するために、DVD の素材に合わせて変換方法を使い分ける必要があります。

自動	本機がフィルム素材とビデオ素材の違いを検出し、自動的に素材に合わせた変換方法に切り換えます。通常はこの設定を選びます。
ビデオ	再生中の素材にかかわらず、ビデオ素材用の変換モードになります。

ご注意

LINE OUT VIDEO 端子や S VIDEO OUT 端子を使ってテレビとつないでいるときに NORMAL/PROGRESSIVE スイッチを PROGRESSIVE 側に合わせると、映像が不鮮明になったり表示されなかったりします。その場合は、NORMAL/PROGRESSIVE スイッチを NORMAL 側に合わせ、本体の PROGRESSIVE ランプが消えるようにしてください。

視聴に関する設定

（視聴設定）

再生するときの視聴に関する設定を再生などの条件に合わせて設定します。

設定画面で「視聴設定」を選びます（「設定画面を使う」68 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

◆オートパワーオフ

オートパワーオフの設定をします。

切	オートパワーオフ機能を使わない
入	ディスクを再生していないときに 30 分以上本体またはリモコンを操作しないと、自動的にスタンバイモード（待機状態）になる

◆自動再生

電源が入ったときの動作を設定します。本機をタイマー（別売り）と接続したときに設定すると便利です。

切	自動再生しない
入	タイマー（別売り）で電源が入ったとき、自動で再生を始める

◆表示窓の明るさ

本体の表示窓の明るさを調整します。

明	明るくする
暗	暗くする

◆一時停止モード（DVD ビデオ / DVD-RW のみ）

一時停止にしたときの画像のモードを設定します。

自動	大きく動きのある被写体のある画像がぶれずに見られる。通常はこの設定にする
フレーム	動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られる

◆音声トラック自動選定モード（DVD ビデオのみ）

複数の音声記録方式が記録されているDVD ビデオを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声記録方式（PCM、DTS、ドルビーデジタル）を優先して再生することができます。

切	優先しない
入	優先する

ご注意

- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」（69 ページ）より優先されるためです。
- 「DTS」の設定を「切」（73 ページ）にした場合、この設定を「入」にしても DTS 音声は再生されません。
- PCM、DTS、ドルビーデジタルのチャンネル数が同じ場合、PCM、DTS、ドルビーデジタルの順で優先されます。

◆つづき再生機能（DVD ビデオ、ビデオ CD のみ）

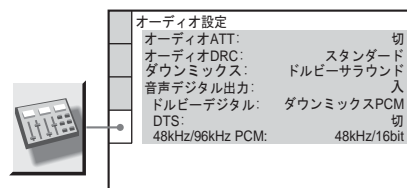
つづき再生を設定します。設定すると 6 枚のディスクまでつづき再生を本機に記録することができます（33 ページ）。

入	6 枚のディスクまでつづき再生を記録する（「切」に設定しても、記録は消去されません）
切	本機にディスクを入れたままのときを除き、つづき再生を記録しない

音声に関する設定

（オーディオ設定）

再生するときの音の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。

設定画面で「オーディオ設定」を選びます（「設定画面を使う」68 ページ）。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。

◆オーディオ ATT（attenuation（アテニュエイション））

本機の音声出力レベルを低くして、音が歪まないようにします。
この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
- LINE OUT AUDIO L/R 端子

切	通常はこの設定にする
入	スピーカーからの音が歪むときなどにこの設定を選ぶ

◆オーディオ DRC（Dynamic（ダイナミック） Range（レンジ） Control（コントロール））（DVD ビデオ / DVD-RW のみ）

DVD の音量を下げて聞くときに、小さい音までよく聞こえるようにします。オーディオ DRC に対応の DVD にのみ効果があります。
この機能は、次の端子からの出力に効果があります。
- LINE OUT AUDIO L/R 端子
- 「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定したときの DIGITAL OUT OPTICAL および COAXIAL 端子（73 ページ）

スタンダード	通常はこの設定にする
テレビ	小さい音までよく聞こえるようにする
ワイドレンジ	迫力のある音になる

◆ダウンミックス（DVD ビデオ / DVD-RW のみ）

リアスピーカーの音声成分（チャンネル）を含むドルビーデジタル方式で記録されている DVD を 2 チャンネルに変換して再生するとき、この設定を切り換えます。リア音声成分（チャンネル）について詳しくは「音声信号フォーマットを確認する」（50 ページ）をご覧ください。
この設定は、次の端子からの出力に効果があります。
- LINE OUT AUDIO L/R 端子
-「ドルビーデジタル」を「ダウンミックス PCM」に設定したときの DIGITAL OUT OPTICAL および COAXIAL 端子（73 ページ）

ドルビーサラウンド	通常はこの設定にする。サラウンド用にマルチチャンネル音声を処理した 2ch で出力する
ノーマル	ステレオ用にマルチチャンネル音声をミックスした 2ch で出力する

◆音声デジタル出力

DIGITAL OUT OPTICAL および COAXIAL 端子から音声信号を出力するかしないかを選びます。

入	通常はこの設定にする。この設定を選んだら、「音声デジタル出力の信号を設定する」を設定する
切	デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられる

音声デジタル出力の信号を設定する

DIGITAL OUT OPTICAL または COAXIAL 端子に、デジタル入力端子のある AV アンプや MD デッキなどの機器をつないだときの、音声信号の出力方式を設定します。
接続について詳しくは、23 ページをご覧ください。
「音声デジタル出力」で「入」を選んでから、「ドルビーデジタル」、「48kHz/96kHz PCM」または「DTS」を設定してください。

設定した音声信号の出力方式に対応していない機器を接続していると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたり、スピーカーを破損したりすることがあります。

◆ドルビーデジタル（DVD ビデオ / DVD-RW のみ）

ドルビーデジタル信号のデジタル出力方式を選びます。

ダウンミックス PCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。出力される信号のサラウンド効果の有無は「オーディオ設定」の「ダウンミックス」の設定によって決まる（73 ページ）
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

➡ 次のページへつづく

◆ DTS

DTS 信号をデジタル出力するかしないかを選びます。

切	DTS デコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ
入	DTS デコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

◆ 48kHz/96kHz PCM (DVD ビデオのみ)

音声信号のサンプリング周波数を選びます。

48kHz/16bit	DVD ビデオの音声信号は 48kHz/16bit に変換されて出力される
96kHz/24bit	96kHz/24bit を含むすべての信号がそのまま出力される。ただし、著作権保護の信号が含まれているときは 48kHz/16bit で出力される

ご注意

音声信号が LINE OUT AUDIO（L/R）端子から出力されるときは、この設定は影響しません。サンプリング周波数は 96kHz なら 96kHz のままアナログ信号に変換されて出力されます。

故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源

電源が入らない。

➡ 電源コードがしっかり差し込まれているか確認する。

映像

映像が出ない、乱れる。

➡ 接続コードのプラグをしっかり差しなおす。
➡ 接続コードが断線している。
➡ テレビの接続を確認し（20 ページ）、テレビの入力を本機の映像が映るように切り換える。
➡ ハイビジョンテレビ専用のコンポーネントビデオ入力端子（Y/PB/PR）に本機を接続している。S 映像コードまたは映像コードで接続する。
➡ ディスクに汚れや傷がある。
➡ 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続したり、ビデオ一体型テレビに接続していると、一部のDVD プログラムに使用されているコピープロテクション信号が画質に悪影響を及ぼす可能性がある。
本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS 映像入力端子へ接続してみる（20 ページ）。
➡ プログレッシブ方式に対応していないテレビとつないでいるときに、本機をプログレッシブ方式に設定している（PROGRESSIVE ランプが点灯している）。本体裏面のNORMAL/PROGRESSIVE スイッチで「(インターレース)」を選ぶ。
➡ 本体裏面のNORMAL/PROGRESSIVEスイッチは、コンポーネント映像コードを使ってCOMPONENT VIDEO OUT 端子につないだときのみPROGRESSIVE 側に合わせる（20 ページ）。
➡ プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、プログレッシブに設定すると映像が乱れることがある。本体裏面のNORMAL/PROGRESSIVE スイッチを「NORMAL」側に合わせる。

設定画面の「画面設定」の「TV タイプ」で設定した画像の形で再生できない。

➡ 画像の形が固定されているディスクを再生している。

音声

音が出ない。

➡ 接続コードのプラグをしっかり差しなおす。
➡ 接続コードが断線している。
➡ アンプの入力端子を間違えている（25 〜 27 ページ）。
➡ アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。
➡ 一時停止、スロー再生になっている。
➡ 早送りまたは早戻しになっている。
➡ DIGITAL OUT OPTICAL およびCOAXIAL 端子から音が出ないときは設定画面を確認する（72 ページ）。
➡ 音声トラック2 が記録されていないスーパーVCD では、「2: ステレオ」、「2:1/L」、「2:2/R」を選んでいる。

➡ 次のページへつづく

音がひずむ。

➡ 設定画面の「オーディオ設定」の「オーディオ ATT」を「入」にする（72 ページ）。

音が小さい。

➡ DVD によっては、再生時の音量が小さい場合がある。「オーディオ DRC」を「テレビ」に設定（72 ページ）すると、改善されることがある。
➡ 設定画面の「オーディオ設定」の「オーディオ ATT」を「切」にする（72 ページ）。

操作

リモコンで操作できない。

➡ リモコンの電池が消耗している。
➡ リモコンと本体との間に障害物がある。
➡ リモコンと本体との距離が離れている。
➡ 本体のリモコン受光部に向けて操作していない。

再生が始まらない。

➡ ディスクが裏返しに入っている。
再生面を下にする。
➡ ディスクが斜めにずれて入っている。
➡ 再生できないディスクを入れている（9 ページ）。
➡ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている（9 ページ）。
➡ 結露している（3 ページ）。
➡ 正しくファイナライズされていない録画用ディスクを再生しようとしている（10 ページ）。

MP3 を再生できない。

➡ 次のような音声を再生している（55 ページ）。
ーISO9660 レベル 1、レベル 2、Joliet に準拠していない MP3 音声
ー拡張子が「.MP3」以外の MP3 音声
ー拡張子は「.MP3」だが、MP3 形式以外のデータ
ーMPEG 1 Audio Layer 3 以外の音声
ーMP3PRO で記録された音声
➡ 音声映像選択モードの設定が「画像（JPEG）」になっている（58 ページ）。

JPEG 画像を再生できない（55 ページ）。

➡ データ CD が ISO9660 レベル 1 及びレベル 2 または Joliet に準拠する JPEG フォーマットで記録されていない。
➡ ファイルの拡張子が「.JPG」または「.JPEG」以外になっている。
➡ サイズがノーマルモードで 3072（幅）× 2048（高さ）以上、またはプログレッシブ JPEG で 330 万画素以上である。
➡ 画面に適合しない（映像が縮小されている）。
➡ 音声映像選択モードの設定が「音声（MP3）」になっている（59 ページ）。

MP3 音声と JPEG 画像が同時に再生を始める。

➡ 音声映像選択モードの設定が、「自動」になっている（59 ページ）。

データ CD のアルバム / トラック名が正しく表示されない。

➡ MP3 音声を記録した際の書き込み用ソフトウエアによっては、入力した文字とは異なる文字がアルバム名 / トラック名一覧に表示されることがあります。

再生がディスクの最初から始まらない。

➡ プログラムまたはシャッフル、リピート、A-B リピート再生になっている（36 ページ）。
➡ つづき再生になっている（33 ページ）。

再生が自動的に始まる。

➡ 自動的に再生が始まるディスクを入れている。
➡ 設定画面の「視聴設定」の「自動再生」で「入」を選んでいる（71 ページ）。

再生が自動的に止まる。

➡ オートポーズ信号が記録されているディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。

ストップ、スキャン、スロー、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生などの操作ができない。

➡ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて見る。

音声言語を変更できない。

➡ リモコンのボタンで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する（34 ページ）。
➡ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。
➡ 音声言語の切り換えを禁止しているDVD を再生している。

字幕を変更できない、または消すことができない。

➡ リモコンのボタンで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する（34 ページ）。
➡ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。
➡ 字幕の変更または消す事を禁止しているDVD を再生している。

アングルを変更して見ることができない。

➡ リモコンのボタンで直接操作する代わりに、DVD メニューから操作する（34 ページ）。
➡ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。
➡ 表示窓のアングル表示「🎥」が点灯していない場面で、アングルを切り換えている（13 ページ）。
➡ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

正常に動作しない。

➡ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、本体電源を抜く。

画面および表示窓に 5 桁のアルファベットと数字が表示されている。

➡ 自己診断機能が働いている。78 ページの表にしたがって対応する。

ディスクトレイが開かず、表示窓に「LOCKED」と表示される。

➡ チャイルドロックが設定されている（32 ページ）。

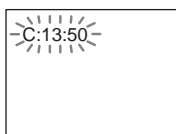
ディスクトレイが開かず、表示窓に「TRAY LOCKED」と表示される。

➡ テクニカルインフォメーションセンターまたは、お客様ご相談センター、ソニーサービス窓口、お買い上げ店に問い合わせる。

データ CD を再生中、テレビ画面に「データエラー」と表示される。

➡ MP3 音声のトラックや JPEG 画像ファイルが壊れている。
➡ MPEG1 Audio Layer3以外の音声を再生している。
➡ JPEG 画像の形式が DCF に準拠していない（55 ページ）。
➡ 拡張子は「.JPG」または「.JPEG」だが、JPEG 形式以外で記録されている。

自己診断機能について（アルファベットで始まる表示が出たら）

本機の異常を未然に防ぐため、自己診断機能が働くと、画面および表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号（例：C 13 50）が表示されます。その際は次のように対応してください。

サービス番号の最初の3桁	原因と対応
C 13	ディスクが汚れているか再生非対応のディスクです ➡ 柔らかい布でディスクを拭くか、ディスクを取り出してください（10,11ページ）
C 31	ディスクが正しく入っていません ➡ ディスクを正しく入れ直します
E XX（XXは任意の数）	異常を未然に防ぐため自己診断機能が働きました ➡ お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください 例：E 61 10

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

◆調子が悪いときはまずチェックとご相談を

この説明書の「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。症状が改善されないときは、お客様ご相談センターへお問い合わせください。詳しくは、添付の「本機の調子がおかしいと思ったら」または「ソニーご相談窓口のご案内」、裏表紙をご覧ください。

◆保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◆保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

◆部品の保有期間について

当社では、CD/DVDプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間を経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

• 型名：DVP-NS575P
• 故障の状態：できるだけ詳しく
• 自己診断機能の状況：
• 再生していたディスクのタイトル名：
• 再生していたディスクの種類（DVD ビデオ、DVD-RW、DVD-R など）：
• つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名：
• 購入年月日：
• お買い上げ店：

今後とも、ソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

用語解説

アルバム （55、57 ページ）

データ CD 上の単位で、JPEG 画像ファイルや MP3 音声トラックを含む（この「アルバム」は本機特有の定義）。

インターレース（飛び越し走査）(71 ページ)

映像の 1 フレーム（コマ）を 2 つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方式。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

ビデオインデックス（ビデオ CD）(16 ページ)

再生したい部分を見つけやすいように、1 つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたもの。インデックスが記録されていないディスクもある。

シーン（13 ページ）

PBC（プレイバックコントロール）対応のビデオ CD で、メニュー画面や動画、静止画の区切りのこと。

タイトル（13 ページ）

DVD に記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトではアルバム 1 枚（または 1 曲）にあたる。

チャプター（13 ページ）

DVD に記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1 つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

➡ 次のページへつづく

トラック（13 ページ）
ビデオ CD や CD またはデータ CD に記録されている映像や曲の区切り（1 曲分）。（データ CD の「トラック」は本機特有の定義）。

ドルビーサラウンド（プロロジック）（23 ページ）
ドルビーラボラトリーズ社がサラウンド音声のために開発した音声信号の処理技術。入力信号にサラウンド信号があるとき、プロロジック処理をして、フロント、センター、リアに信号を出力する。リアチャンネルはモノラルになる。

ドルビーデジタル（23、73 ページ）
ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。映画館の立体音響システム「ドルビーデジタル」と同様の高水準のデジタル音声を楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

フィルム素材、ビデオ素材（71 ページ）
DVD の映像素材の種類。フィルム素材とは映画フィルム（1 秒 24 コマ）を DVD に記録したもの。ビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションなどのテレビ放送された番組 1 秒 30 フレーム、60 フィールド（25 フレーム、50 フィールド）を DVD に記録したもの。

ファイル（55、58 ページ）
データ CD に記録された JPEG 画像（この「ファイル」は本機特有の定義）。1 つの映像が 1 つのファイルとなる。

プログレッシブ（順次走査）（71 ページ）
映像の 1 フレーム（コマ）を 2 つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1 フレームを 1 つの画像で表示する方式。従来のインターレース方式が 1 秒を 30 フレーム（60 フィールド）で構成するのに対して、はじめから、1 秒を 60 フレームで構成するため、静止画や文字、横線の多い場面などで高品質な映像を再現できる。
本機は 525 プログレッシブ（525p）方式に対応。

プログレッシブ JPEG（61、76 ページ）
主にインターネットで用いられる画像フォーマットで、ダウンロード中でもおおよその画像がわかるように、全体的にぼんやりした画像から段々とはっきり表示される方式。

D 映像信号（20 ページ）
D 端子付きデジタルテレビと 1 本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D 端子には対応する信号フォーマットによって D1、D2、D3、D4 端子があり、本機は D1/D2 端子とつなげることができる。
- D1 端子：525i（480i）の信号
- D2 端子：525i（480i）と 525p（480p）の信号

* i はインターレース、p はプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DTS（23、73 ページ）
デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。マルチチャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を楽しむことができる。
全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

DVD ビデオ（9 ページ）

CD と同じ直径で最大 8 時間までの動画が記録できるディスク。
片面 1 層で 4.7GB（Giga Byte）と CD の 7 倍の情報が記録でき、片面 2 層で 8.5GB、両面 1 層では 9.4GB、両面 2 層では 17GB が記録できる。
画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」を採用し、映像データを約 1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報は PCM の他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。
またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DVD-RW（9 ページ）

DVD-RW は、DVD ビデオと同じサイズで、記録や書き換えることができるディスク。DVD-RW には、ビデオモード、VR モードという 2 つの記録モードがある。
ビデオモードは、DVD ビデオフォーマットと互換性があるモード。
VR（ビデオレコーディング）モードは、ビデオモードではできない様々な編集や録画が可能。

DVD+RW（9 ページ）

DVD+RW は、DVD ビデオと同じサイズで、記録や書き換えることができるディスク。
DVD+RW は、DVD ビデオフォーマットと互換性のとれる記録方式を採用している。

主な仕様

システム

形式：CD/DVD プレーヤー
信号方式：JEITA 標準、NTSC カラー方式

音声特性

周波数特性：DVD VIDEO（PCM 96 kHz 再生時）：2 Hz ～ 44 kHz（± 1.0dB）*／DVD VIDEO（PCM 48 kHz 再生時）：2 Hz ～ 22 kHz（± 0.5dB）*／CD：2 Hz ～ 20 kHz（± 0.5 dB）*
信号対雑音比（S/N 比）：115 dB*（LINE OUT AUDIO L/R 端子のみ）
全高調波ひずみ率：0.003 %*
ダイナミックレンジ：DVD VIDEO：103 dB／CD：99 dB*
ワウ・フラッター：測定限界（± 0.001% W PEAK）以下 *

* JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。

出力端子

（**端子名：**端子形状／出力レベル／負荷インピーダンス）
DIGITAL OUT OPTICAL：光出力コネクター／− 18 dBm（発光波長 660 nm）
DIGITAL OUT COAXIAL：ピンジャック／0.5 V_{P-P} ／ 75 Ω
LINE OUT AUDIO L/R：ピンジャック／ 2 Vrms ／ 10 kΩ
LINE OUT VIDEO：ピンジャック／1.0 V_{P-P} ／ 75 Ω
S1 VIDEO OUT：4 ピンミニ DIN ／輝度信号：1.0 V_{P-P}、色信号：0.286 V_{P-P} ／ 75 Ω
COMPONENT VIDEO OUT (Y、P_B/C_B、P_R/C_R)：ピンジャック／ Y: 1.0 V_{P-P}、P_B/C_B、P_R/C_R：0.7 V_{P-P} ／ 75 Ω
D1/D2 VIDEO OUT：
D 端子／ Y: 1.0 V_{P-P}、C_B、C_R：0.7 V_{P-P} ／ 75 Ω

電源、その他

電源：AC 100V、50/60 Hz
消費電力：
10W
最大外形寸法：
430 × 43 × 237.7 mm（幅 / 高さ / 奥行き）
質量：約 1.95 kg
許容動作温度：5 ～ 35 ℃
許容動作湿度：25 ～ 80 %

付属品

19 ページをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

言語コード一覧表

詳しくは 49、52、69 ページをご覧ください。

言語名表記は ISO639:1988（E/F）に準拠

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali; Bangla
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic
1299	Cambodian
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian
1332	Lithuanian
1334	Latvian; Lettish
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	(Afan)Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati
1514	Sesotho
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana
1535	Tonga
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

索引

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*・・・・・・・ 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC
（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを
使用しています。

Printed In Malaysia